

Let Language Be Your Wings To The World

～言葉を究めて世界へはばたく～



大阪大学 外国語学部

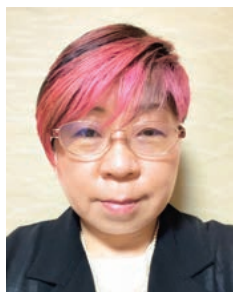
OSAKA UNIVERSITY School of Foreign Studies

2023

言葉を究めて 世界へはばたく

外国語学部長あいさつ

外国語学部の前身は大阪外国語大学ですが、そのさらに前身は官立の大阪外国語学校です。同校は、「大阪に国際人を育てる学校を」と思い描いた大阪の実業家、林竹三郎氏の遺志を受けた妻の林蝶子氏による寄付を資金に、1921年に大阪市内の上本町八丁目に創設されました。当初、学年定員200名、専攻言語は9言語という規模でしたが、その後、大阪外事専門学校(1944年改称)を経て国立大阪外国語大学(1949年)へと発展を遂げました。1979年には上本町から箕面市栗生間谷へと移転して組織を拡充し、2007年10月に大阪大学と統合して現在の大阪大学外国語学部の姿になりました。現在は学年定員580名、専攻数は25言語を数え、大阪大学の文系学部で最大規模を誇っています。また、外国語学部を有する唯一の国立大学法人として大阪大学を特徴付けています。



昨今、大学世界においても「グローバル人材の育成」という表現が取り上げられる機会が多くなっています。本学部は創設当初からそれを目的としてきました。ただし、「グローバル人材」についての世間一般での認識と本学部での認識は異なっていると言えます。世間一般では、おそらく国際的なビジネスシーンに通用する言語運用能力を身につけている人材として理解されることが多いでしょう。しかし、本学部が育成を目指すグローバル人材とは、高度な言語運用能力—しかもそれは英語に限りません—を習得するだけの表層に限定することなく、専攻語地域のジェネラリストとして、外国の言語とそれを基底とした文化を理解する力を身につけた人のことです。多種多様なシーンにおいてその能力と知識を活用できる人材、換言すれば、深層の異文化理解力を有する人材にはかなりません。

外国語学部は2021年に創設100周年を迎えました。大学に求められるグローバル人材の育成は、外国語学部にとって大阪外国語学校の創設以来のミッションです。大阪外国語大学時代に蓄積された経験と実績は、大阪大学全体におけるグローバル人材の育成にも十分に活用できるものと信じ、大阪大学におけるグローバル人材育成の範たる学部でありたいと思っています。

大阪大学 外国語学部長 竹村 景子

外国語学部とは

本学部の教育は、一般的な町中の語学学校のそれとどう違うのでしょうか。教授される言語の多様性や水準の差だけなのでしょうか。この疑問に対する答えは、本学部規程の第1章総則に、「…外国の言語及びそれを基底とする文化一般について理論及び実際にわたって教授研究し、国際的な活動をするために必要な広い知識及び高い教養を与え、言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為な人材を養成すること…」と明確に記されています。

つまり、教授される言語を単にコミュニケーションのためのツールとして学ぶだけではなく、専攻言語とそれが話される地域の文化や社会について多角的な視野から総合的かつ相対的に理解する能力、言わば異文化理解力を身につけ、それを国際社会という舞台で発揮できる人材を育成することを目的としているのです。

各専攻語では、入学年次から卒業年次までの一貫した言語教育を提供することはもちろんのこと、言語分野、文学分野、歴史・社会分野をいわゆる「3本柱」(専攻言語によっては政治・経済分野を含めて4本柱)として、専攻語地域のジェネラリストを育成すべく、各学問分野の方法論に基づいた専門的な授業を提供しています。外国語学部の「学び」は、言語研究と人文社会的な地域研究の成果を融合させた言わば「言語地域学」あるいは「語圏学」と言えます。「言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ Culture Through Language, Language Through Culture」という学部教育のモットーはまさにこれを象徴しています。

本学部では、大学間学術交流協定や部局間交流協定に基づく交換留学などの公費留学のみならず、様々な私費留学制度の情報を収集・提供することで、学生の海外留学を応援しています。実際に、毎年、数多くの学生が、授業を通して習得した高度な外国語運用能力と外国に関する幅広い知識、異文化理解力をさらに向上させるべく、世界の各地に赴いて、あるいは、オンラインという方法で海外留学を経験しています。海外留学の経験は、学んだ知識と個人的体験とを若い感性で有機的に結びつける絶好の機会であり、そうして得られた個々人の国際感覚こそが異文化理解にとって重要であると考えます。

キャンパスでの授業ならびに留学などの海外経験で得た知識やスキルを活かして、広い視野と客観的な洞察力を持った国際人として社会で活躍する卒業生が少なくありません。それが外国語学部の強みであり、誇りであると思っています。

外国語学部のあゆみ

1921年(大正10年) 大阪外国語学校創設
1944年(昭和19年) 大阪外事専門学校と改称
1949年(同24年) 大阪外国語大学設置
1979年(同54年) 箕面市栗生間谷に移転
2007年(平成19年) 10月1日、大阪大学と統合
2021年(令和3年) 箕面市船場東に移転

CONTENTS

外国語学部長あいさつ	1	アドミッション・ポリシー	30
外国語学部とは 外国語学部のあゆみ		外国語学部のカリキュラム	31
ネイティブ教員からのメッセージ	3	就職状況	32
		交換留学制度	33
		卒業生からのメッセージ	35
		箕面キャンパス周辺マップ・交通経路図	37

専攻紹介(P5~29)をご覧ください。

各専攻のアドミッション・ポリシーをそれぞれの紹介ページ冒頭に記載しています。
各専攻紹介のページでは、冒頭に「こんにちは」を意味する言葉をそれぞれの言語の文字表記で載せています。

新キャンパスでの学びがスタート これまでの100年を礎に、次の100年へ



ネイティブ教員からのメッセージ



李佳先生

中国語 専攻

P5

楽しく、奥深く、魅力いっぱいの
中国語ワールドに旅立ちましょう！
让我们开启快乐、深奥、
充满魅力的汉语世界之旅！



テツ テツ先生

ビルマ語 専攻

P12

မြန်မာစကားပြောကြရအောင်လား။

ビルマ語と一緒に話しませんか



趙瑜美先生

朝鮮語 専攻

P6

한국어를 즐겁게 배워 봅시다.
韓国語を楽しく学びましょう。



ヴェータ先生

ヒンディー語 専攻

P13

हिन्दी सरल एवं प्रिय भाषा है।
सरलता एवं प्रेम से आओ, इसे सीखें।

ヒンディー語はやさしい言葉です。
気軽な気持ちで来てください。
さあ、学びましょう！



バヤルサイハン先生

モンゴル語 専攻

P7

Монголын өвөрмөц нийгэм ахуй, түүх,
өв соёлын өнгөрсөн,
одоо, ирээдүйд нэвтрэх үүдийг нээж,
монгол хэл сурцгаая.
モンゴル特有の社会様式、歴史、文化遺産の
過去・現在・未来に通じる扉を開き、
モンゴル語を学びましょう。



マルグープ先生

ウルドゥー語 専攻

P14

اردو شیریں اور خوب صورت زبان ہے۔
آئیے، اردو سیکھیں!

ウルドゥー語は甘美な言葉です。
さあ、ウルドゥー語を学びましょう！



シンティア・フィエンティアニ先生

インドネシア語 専攻

P8

Bahasa Indonesia berperan dalam mempersatukan keberagaman
budaya, bahasa, suku, agama, dan adat. Marilah menyelami
keberagaman Indonesia dengan belajar bahasa Indonesia.
インドネシア語は多様な文化、言語、民族、宗教、
慣習を持つ人々を統一する役割を担っています。
さあ、インドネシア語を学び、インドネシアの
多様性に飛び込んでみましょう。



エル・シャルカーウィー先生

アラビア語 専攻

P15

إِنَّ الَّذِي مَلَأَ اللَّعَابَ مُحَاسِبًا
جَعَلَ الْجَمَالَ وَسِرَّهُ فِي الضَّمَادِ

さまざまな言語を魅力で満たされたお方(=神)は、
ダード(の言語=アラビア語)に美とその神秘をさ
ずけたもうた(大意)

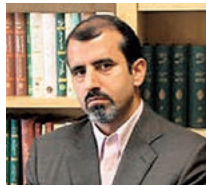


ルイズフリーダジョイアンジェリカ先生

フィリピン語 専攻

P9

Lahat ay inaanyayahang tuklasin ang ganda ng wikang
Filipino at Ilokano nang sa gayon ay mas maunawaan
ang kulturang Pilipino at mas mapaligting ang
buklurang nananalaytay sa Pilipinas at sa mundo.
フィリピン語やイロカノ語のすばらしさを探求することで、
フィリピンの文化をよりよく理解し、フィリピンや世界と
つながりを強めていこう、皆さんをお招きしています。



レザーイー先生

ペルシア語 専攻

P16

چون شكر شیرین و چون گوهر زبان
پارسی ست

ペルシア語は砂糖のように甘く、
まるで宝石のよう。



マリワン先生

タイ語 専攻

P10

เรียนภาษาไทย เข้าใจสังคมและวัฒนธรรมไทย
タイ語を学び、タイの社会と文化を
理解しましょう。



アクバイ先生

トルコ語 専攻

P17

Türkçe sizlere yeni bir dünyanın
kapılarını aralayacak. Hep birlikte
Türkçeyi keşfedelim!

トルコ語は貴方に新しい世界を見せてくれます。
一緒に新しい発見をしましょう。



トー先生

ベトナム語 専攻

P11

Quan hệ Nhật Việt ngày càng tốt đẹp
Hãy học tiếng Việt và nắm bắt cơ hội.

日越関係はますますよくなっています。
ベトナム語を学んでチャンスをつかみましょう。



ザイナブ先生

スワヒリ語 専攻

P18

Tujifunze Kiswahili!
スワヒリ語を勉強しましょう！



シビトゥーナ先生

ロシア語 専攻

P19

Умом Россию не понять,
Аршином общим не измерить:
У ней особенная стать —
В Россию можно только верить. *Ф. Тютчев*
頭ではロシアは理解 できぬもの 共通の 物差しを以て 測れぬもの
ロシアには 独自の 立ち姿 ロシアとは 信じる ことしか できぬもの
チュッチェフ(井上幸義訳)



ボレ先生

フランス語 専攻

P25

Langue de l'architecture, langue de la musique, langue de la
peinture, langue des sciences, langue de la littérature, langue
de la philosophie, langue de la diplomatie, langue de l'olympisme,
langue de la gastronomie et... langue de l'amour.
On a tous une bonne raison d'apprendre le français.
建築の言語、音楽の言語、絵画の言語、科学の言語、文学の言語、哲学の
言語、外交の言語、オリンピックの言語、美食の言語... そして愛の言語。
フランス語を学ぶ素晴らしい理由が誰にもあるのです。



コヴァーチ・レナタ先生

ハンガリー語 専攻

P20

Magyarul tanulni szórakoztató!
ハンガリー語は楽しい!



ボツィ・カルロ・エドアルド先生

イタリア語 専攻

P26

L'italiano è un ponte:
attraversiamolo insieme e scopriamo
la storia, la letteratura, la cultura
e la società dell'Italia.
イタリア語は架け橋です。一緒に渡って、
イタリアの歴史、文学、文化、社会等を発見しましょう。



ラウリツ先生

デンマーク語 専攻

P21

At en litteratur intet sætter under
debat er det samme som, at den er
ifærd med at tabe al betydning.
議論なき文学は無意味に等しい。



ベアトリス先生

スペイン語 専攻

P27

¡Hola! Vamos a divertirnos estudiando
español y las culturas de los países
donde se habla.
こんにちは! スペイン語を勉強して、
話されている国々の文化を楽しみましょう。

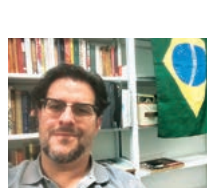


マリー・テリドッテル先生

スウェーデン語 専攻

P21

"Svenska språket öppnar dörren till
det svenska samhället. Välkommen!"
「スウェーデン語はスウェーデン社会への
扉を開きます。ようこそ!」



デゼン先生

ポルトガル語 専攻

P28

Olá, sejam bem-vindos! Vamos estudar a
língua portuguesa e aprender sobre
cultura luso-brasileira!
みなさん、ようこそ! いっしょにポルトガル語を勉強し、
ポルトガル・ブラジルの文化について学びましょう!



ラッペ先生

ドイツ語 専攻

P23

Deutschland – Land der Philosophie
ドイツ – 哲学の国



儀利古 幹雄先生

日本語 専攻

P29

知っているつもりで実は謎が多い
身近な日本語・日本文化について
一緒に勉強しましょう



メイリー先生

My name is Ashlyn Moehle. I grew up in the United States of America,
where I became interested in foreign languages from a very young age.
It was at the University of California that I had my first encounter with
Japanese. Here at the School of Foreign Studies, I teach classes that
help learners strengthen and refine their use of English to expertly
navigate and negotiate in communicative settings. I also lead reading and
discussion classes that explore language at various levels of linguistic
analysis, providing a glimpse into the dynamic and fascinating nature of
a living language like English.



ホフメア先生

You have spent many years at school studying the English language. Now
the time has come to start putting your skills to use (and this is the fun
part!) In the discussion classes at our department, you will have the
opportunity to learn how to discuss relevant and important issues as
well as how to persuasively express and defend your own ideas and
opinions in English. From the third year, you will be able to choose from
a range of elective courses with a more academic focus. The courses that
I teach, for example, introduce students to exciting fields such as
sociolinguistics and political philosophy. Why not join the discussion?



ワッツ先生

Hi!
My name is David Watts. I am
originally from the UK, but I have
lived in Japan for over 10 years
now. I studied Japanese and
Linguistics at Sheffield University
and have a Masters Degree in
TESOL (Teaching English to
Speakers of Other Languages)
from The University of Bristol.
At Handai, I teach Academic
Writing and English classes to undergraduate and graduate
students, many of whom have either studied abroad or are
planning to do so in the future. My English language
elective classes examine Local and Global Issues, European
Cultures and Societies and Japanese Cultures and
Societies. My aim is help all my students improve their
English skills and abilities in all these fields in a supportive
and enjoyable atmosphere.
I'm looking forward to meeting you in class!

英語 専攻

P24

中国語専攻

你好 (ニィハオ)

中国語専攻では、中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとり組み、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とする学生を求めています。



外灘から望む浦東のビル群(上海)

中国語専攻ホームページ <http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/chinese/web/>

あなたが大阪大学に入学してまず出会う中国語は、世界一の14億の人口、世界第4位の広さの国土、56の民族、それに伴う数十の言語をもつ中国と、世界中に広がる華人社会の共通語である言語です。

1年次では、「听」(きく)、「说」(はなす)、「读」(よむ)、「写」(かく)の各技能を総合的に学び、この言語の世界に、どっぷり浸かることになります。

2年次以降は、みなさんの志向次第で、次に挙げるような、さまざまな「中国語」を学びつつ、中国のいろいろな側面に触れることができます。

まず、現代中国の言語・文学・歴史・政治・経済・社会などを学ぶ手段としての中国語。これを学ぶことで、前掲の学問分野に対する基礎的な知識が身につくとともに、あなたの中国語は、より幅広く、知的なものになるでしょう。

また、共通語とはかなり異なった方言である広東語は、あなたの中国語に対する知識を多角的なものにするための、また、独自の歴史・民俗・風土などを知るための、最良の足がかりとなってくれるでしょう。

あるいは、近代から遥か古代へと遡っていく、歴史的中国語もあります。これを通して、あなたの中国への視点は、時間的な奥行きをもつことでしょう。

3・4年次では、ゼミに所属します。あなたが「どのゼミにしようか」と悩むとき、あなたは、きっと、それまで学んだ、さまざまな中国語が、ゼミでの多様な専門分野の学習に不可欠であったことを知り、今までのハードな勉強は、このためであったかと達成感を覚えてくれるものと、わたしたちは期待しています。



聖ソフィア教会(ハルビン)

学生の声

4年 谷 俊作

大家好!(皆さんこんにちは!)

一学生の立場から皆さんに中国語専攻についてご紹介します。

中国語専攻で学ぶ特徴の一つに教室を飛び出し、実践を積む機会の多さが挙げられます。学内の中国や台湾への研修プログラムや留学生との交流、そして学外でのスピーチコンテストなど様々な活動に参加するチャンスがあります。留学制度も整っており、自らが望めば学内外を問わず無限に成長のチャンスがあるのが中国語専攻です。

また先輩・後輩関係なく仲良く、お互いに良い刺激を与えながら学べる環境があります。特に中国語劇団の活動では学年の垣根を越えて一つのチームとして公演を国内だけでなく、海外でも実現し、そこで得た絆は一生ものです。

さらに中国語専攻では言語だけでなく、学んだ中国語を生かし、自身の関心をさらに深めることができます。中華圏に関わる様々なトピックについて皆で議論をし、その理解を深めます。私は中国や台湾に関する報道を見る時も、例えば現地発信の情報を直接得たり、大学で学んだ知識や考え方を踏まえてより深くニュースについて考察したりするようになり、大学での学びが社会とつながっていることを実感する日々を過ごしています。

以上のように私にとって中国語専攻は中国語を通して様々な挑戦をし、中華世界という新たな世界とつながる場です。皆さんもぜひ中国語専攻で良き仲間と出会い、中国語を通して新たな世界へ飛び立ちませんか?

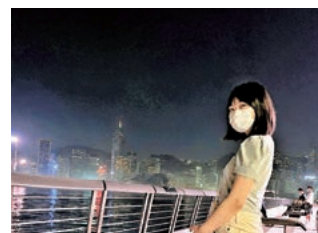


留学体験記

4年 西谷 有理沙

様々な地域でコロナウイルスによる入境制限が敷かれていた2021年末から、私は入境後3週間のホテルでの隔離生活を経て、香港中文大学に留学しました。留学先では普通話と広東語の授業をそれぞれとり、街で買い物をしたり道をたずねたりする時は主に広東語を使うという風に生活していましたが、興味のあった中国語圏映画の講義や海外華人の講義などが英語で開講されており、英語や中国語の様々な資料・作品を用いて先生や現地の学生、ほかの留学生たちとディスカッションするなど、色々な視点から中国について考える良い経験になりました。中文大学を選んで良かったと思う点は、広東語や普通話を使って交流できる相手が香港現地の学生にとどまらず、中国の他の地域や東南アジア、北米等出身の学生でそれらの言語を操れる人が多く、広東語や普通話を介して世界各地の話や彼らの人生経験を聞けるというのがとても面白く、貴重な体験となりました。

香港は比較的コンパクトな街で、私の時は防疫政策の為に中国大陸の他の省などへ隔離なしに往来することは叶わなかったのですが、従来であれば近隣地域の深圳や広州、高铁に乗って上海や北京へも訪れることができそうです。外国語学部で学んできた語学や知識を大いに生かし、多くの面白い場所や人々に会いながら自分の興味や力量と向き合う留学生活は、自分が将来その言語を使って何がしたいのか考えるためのよい時間を与えてくれると思います。



尖沙咀から眺めた香港島の夜景

朝鮮語専攻

안녕하십니까? (アンニョンハシムニカ)

朝鮮語専攻では、朝鮮語の運用能力と、朝鮮・韓国の言語、文化、社会に関する専門的な知識を身につけ、日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になることを希望する学生を求めています。



民族の聖山 白頭山(標高2,750m) 山頂の天池(最深部384m)

受 験生みなさんに、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路について、簡単ではありますが、案内いたします。

教育課程の基本的内容は、学年別にと次のとおりです。

1年生と2年生は、朝鮮(南北朝鮮)の言語の習得が中心です。朝鮮語の音声組織、文法構造、語彙の習得が朝鮮語実習としておこなわれます。これとともに、朝鮮の言語文化と、近現代の歴史・社会のそれぞれについて、講義があります。3年生と4年生は、朝鮮語の語学力そのもののさらなる向上のために朝鮮語演習があります。これと同時に、朝鮮語を基底とした言語・文化・文学についての講義が進められます。3・4年生ではさらに言語・文化・文学の演習があります。これらの演習では、学生自身が言語・文化・文学の中からタイトルとテーマを設定し、学習、研究を進めます。4年生は、卒業するためには、卒業論文を作成しなければなりません。

朝鮮語専攻の学生は、以上のような教育課程を履修しながら、3、4年生になると海外留学する人が少なくありません。留学先はさまざまですが、大韓民国が中心です。留学先大学での修得単位が、本学での修得単位として認定されることが可能な場合があります。

学生の卒業後の進路は、朝鮮語専攻の前身である大阪外国語大学朝鮮語学科以来、多くの卒業生が商社、販売流通、金融、マスコミ、国際交流、公務員(一般、教職、外務など)その他各界で活躍しています。この就職先の傾向はここ数年も基本的に変っていないようです。卒業生の中には、大学などで研究に携わっている人もいます。

以上が、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路の概略です。受験生みなさん、朝鮮語専攻に入学されることを期待しております。

学生の声

2年 阿部 依舞記

皆さんは、「韓国」や「朝鮮半島」という言葉を聞いて何を思い浮かべますか?歴史、政治、食、音楽、伝統衣装…たくさんあると思います。グローバル化が進む今、日常で韓国・朝鮮に触れる機会は増えていますが、ここ朝鮮語専攻での学びはさらなる理解につながるはずです。ここで、朝鮮語専攻を目指している皆さんに朝鮮語専攻の紹介をしたいと思います。

まず、朝鮮語は、日本語と語順が同じである、漢字の読みをもとにしてできた漢字語があるという点で、日本人にとって学びやすい言語と言えます。といっても、外国語を1から学び、読む・書く・話す力を高めることは容易ではありませんが、学びがいをを感じる場面も多くあります。例えば、日常生活で韓国語に触れ、その意味や内容を自力で理解できた時です。また、同じ分野に興味を持った仲間と高め合いながら学生生活を送れることも貴重な経験です。

また、外国語学部朝鮮語専攻は、韓国との交換留学の提携校が非常に多いです。志があれば韓国の大学で学ぶことが出来るという恵まれた環境は、他の大学・学部にはあまりないことです。実際に異国の地で学ぶことで、そこでしか味わえない文化を肌で感じたり、今までの自分の学習の成果を試したり、広い視野を手に入れることができると思います。私を含め専攻語には、留学に向けて頑張っている仲間がたくさんいます。

この素敵な朝鮮語専攻で皆さんとお会いできることを楽しみにしています!



私は写真向かって一番左です。

留学体験記

2022年卒業 閑田 優花

私は韓国のソウル大学に10か月間留学をしました。きっかけは、大阪大学での授業を通じて日韓で一つの歴史に対する捉え方が異なると感じたことです。現地の文化や習慣を体感するとともに韓国側の歴史認識を学びたいと考え、韓国への留学を決意しました。

大学では国史学科に所属し、韓国の歴史を専攻しました。難解な歴史用語や歴史上の人物の名前が飛び交う授業はとても難しく、苦勞もしましたが予習復習を欠かさず行い、理解できなかった部分は必ず質問するなど、努力を重ねて乗り越えました。現地の学生は学習意欲が旺盛で、授業で行われるディスカッションでは自分の意見をしっかりと発表していたり、図書館やカフェは勉強する学生で常にいっぱいだったりと、多くの刺激を受けました。

私が韓国での留学中に最も印象に残ったのは「ウリ文化」です。韓国では「ウリ(私たち)」という言葉がよく使われ、仲間を家族のように大切にする文化があります。私の友人たちも困ったことがあればすぐに助けてくれ、様々な場所に連れて行ってくれました。このように実際に言語や文化に直接触れることで日本にいただけでは知りえない韓国という国のあたたかさを学び、最後は帰国が嫌になるほど韓国が大好きになりました。

この留学を通じて語学力だけでなく、課題解決能力や主体性などが身に付き、人として大きく成長できたと自負しています。皆さんもぜひ留学に挑戦してみてください。



モンゴル語専攻

Сайн байна уу? (サインバイノー)

モンゴル語専攻では、モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得して、異文化としてのモンゴルの多様性を積極的に学びたいと希望する明確な目的をもった情熱ある学生を求めています。



ツォンジンボルドグのチンギスハーン像

私 たちの暮らす東アジアの北に位置するモンゴル国は、1990年代初頭の民主化以降、日本人にとって非常に身近なアジアの一国となりました。それまでの社会主義であった時代には考えられないほど、双方の人々の往来は自由で活発なものとなっています。毎年日本からは、多くの観光客やメディア関係者らがモンゴルを訪れ、報道や特集も日常的になっています。また、日本では国技とされる相撲界でのモンゴル力士の活躍も目覚ましく、連日メディアを賑わせていますが、モンゴル語は、このような私たちにあって身近なアジアの隣人であるモンゴル国の公用語です。

本学モンゴル語専攻では、そのようなモンゴルについて、その言葉の学習を通じて、文化や歴史、自然、民俗、宗教、思想、社会、方言など、関連する様々な方面への理解を深めます。モンゴル語の語順は、日本語と同じくいわゆるSOV型です。名詞類は日本語の「てにをは」に当たる格変化を持ち、動詞の活用も基本的に規則変化します。英語などと違い、日本語の語順で考え話すことができます。非常に学びやすい言語の一つです。文字は2種類使われています。1つは13世紀にチンギス・ハーンが建てたモンゴル帝国以来800年あまりに渡って使われてきた縦書きのモンゴル文字と、1940年代に新たに導入されたロシア文字基盤のアルファベットですが、その両方を学びます。日本人スタッフとネイティブによる授業で、1-2年次には、生きたモンゴル語を基礎からしっかり身につけます。3-4年次には、学んだそのモンゴル語を生かして、卒業論文の作成等を目指し、各人の興味ある分野をより突き詰めて研究できるようなカリキュラムになっています。

本学での学生生活は、1年次には豊中キャンパスで、2年次以降は箕面キャンパスで勉強します。大学内では、各種クラブ活動やサークルに参加したり、在学中に休学して、モンゴルや中国、英語圏などへ留学し、語学力等の向上を目指す意欲的な学生もいます。

本学モンゴル語専攻は、旧大阪外国語大学モンゴル語学科を引き継ぎ、1921年(大正10年)大阪外国語学校の開校以来、2021年4月で創立100周年を迎えた由緒ある専攻語です。特に作家、故司馬遼太郎氏の出身としても知られてきましたが、卒業後の進路に関しては、そういった文筆活動のみならず、大学でのキャリアを生かし、外務省をはじめJICAや、新聞社などの海外特派員、企業の駐在員といった、国際舞台に活動の場を見出した人も多くいます。また、教育者となって全国各地で教鞭をとったり、進学して研究者になったりもさまざまですが、就職状況も例年概して良好です。

皆さん、一緒にモンゴルの言葉と文化を学びましょう。



13世紀モンゴル村ハーン宮殿

学生の声

4年 田中心

Сайн байна уу? (サインバイノー? こんにちは)

私は高校生の時、当学部モンゴル語専攻の先輩である司馬遼太郎氏の著書「モンゴル紀行」を読み、非常に興味を持ったことからモンゴル語専攻に進みました。モンゴル語専攻には様々な魅力がありますが、主に2つ紹介します。

1つ目は、モンゴルについて多角的に理解出来ることです。1、2年生では文法等の基礎知識を養い、3年生からは民話や歴史など、様々な観点から学習します。移動式住居ゲルを実際に建てたり、チーズを作った経験はとても興味深いものでした。また、先生方から、遊牧民が使ってきた日常用具や、古書を見せて頂いたことで、日本にいながらモンゴルと接することが出来ました。

2つ目は、2種類の文字を習得出来ることです。現在、モンゴル語は、中国・内モンゴル自治区では「モンゴル文字」、モンゴル国では「キリル文字」で表記されます。習得後はモンゴルの様々な書物が読めるようになり、より学習が楽しくなりました。

写真は、モンゴル人留学生のお母様が作ってくださったデール(民族衣装)を着て撮ったものです。鮮やかな色合いや細かい手仕事に、モンゴルの文化が凝縮されており、とても感激しました。

モンゴル語を学んだことで、私の視野は大きく広がりました。広い大地に根差したらかな文化や、人や動物との繋がりを大切にするモンゴルの人々との出会いは、今後の私の人生をより豊かなものしてくれると確信しています。



後列・右から3番目のピンクの衣装を着ているのが私です。

学生の声

3年 鷹尾 真央

皆さん、こんにちは。今回は、私がモンゴル語専攻に入学してから学んできたことについて紹介します。

1、2年時にはモンゴルやモンゴル語の基礎を身に付けるための授業がありました。私はそれらの事前知識がほとんどない状態からのスタートだったので不安でしたが、その不安はすぐに消えました。先生方が1つ1つ丁寧に、私たちが理解できるまで熱心に教えてくださったり、授業外でも親身になってサポートしてくださったりしたからです。毎授業、新発見があり、また、できることが着実に増えていくので、楽しく前向きに学ぶことができました。

3年生になった現在は、専門的・実践的内容を学んでいます。語学、文学、文化、歴史など様々な分野の講義を受講しています。文学作品の翻訳は苦戦すること多いですが、作品からモンゴル文化やモンゴル語特有の表現を新たに知ることができ、やはり新発見が絶えないのでとても面白いです。

また、私は英語とロシア語の学習にも励んでいます。専攻語の仲間も、多言語学習に励んだり、他学部の授業を受け、幅広く勉強したり、学外の活動に動んだりなど、各々頑張っていることがあり、彼らから毎日刺激を受けています。

モンゴル語の勉強はもちろん、興味のあることを自由に学び、追究していける、そしてそれを後押ししてくれる仲間や先生が多いところがモンゴル語専攻の魅力の1つだと思います。当専攻での学びに興味を持っていただけたら嬉しいです!



インドネシア語専攻

Selamat siang (スラマツ シアン)

インドネシア語専攻では、多彩な数百の民族から構成される東南アジア最大の国家であり、日本とも深い関係を持つインドネシアについて、インドネシア語の習得を基盤としながら、言語・文化・社会・宗教・歴史などの様々な面から積極的に学び、理解を深め、その成果を生かして、社会に貢献していきたいと希望する学生を求めています。



アチェの中央モスク

インドネシアは約2億7千万人(世界第4位)の人口をもつ、東南アジアの群島国家です。1945年に独立を宣言しました。

インドネシア語は、マレー語を母体として独自の発展をとげた、インドネシアの国語です。ローマ字で表記され、文法も難しくないため、今では全国に普及しています。一方、インドネシアには数百の地方語があり、日常生活においてはインドネシア語と共にそれぞれの地方語が使われています。

広大な国土と多様な民族集団をもつインドネシアに関して、私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

歴史をひもとけば、ヒンドゥー・イスラム諸王朝の時代、オランダ植民地時代、日本占領時代、そして独立後の激動の歴史が私たちに惹きつけます。1998年の民主化を経て、インドネシアは新しい時代を迎えています。

各地に目を向ければ、多様な文化と社会があります。スマトラ島には母系制で知られるミンナカバウ人、カリマンタン島には「森の民」といわれるダヤク人、スラウェシ島にはかつて海洋王国を築いたマカッサル人、ニューギニア島にはバプアの人びとがいます。また、ジャワ、バリをはじめ、各地の絢爛たる芸術・文学は多くの人々を魅了し続けています。さらに、現代の芸術、文学、ポピュラーカルチャーは同時代を写す鏡として興味深いものです。

今日、インドネシア社会は、グローバル化の波の中で、変化をとげつつあります。経済が急速に発展する一方で広まった格差の是正、開発と環境のバランス、多宗教・多民族共存などが課題としてあります。

何を学ぶにせよ、インドネシア語は基礎となります。しっかりと言葉
を学び、本当のインドネシアに
触れる旅に出かけましょう。広く、
大きく、多様なインドネシアは、
私たちに多くの生きる手がかり
を与えてくれるでしょう。



首都ジャカルタ



バリの儀礼

学生の声

4年 貞好 亜星

皆さんはインドネシアと聞いて何を思い浮かべますか？

バリ島、ボロブドゥール、ナシゴレンなどでしょうか。旅行や世界史が好きな人には馴染みがあるかもしれません。豊かな自然、独特な文化、温かい人々、様々な魅力を併せ持つとても心地よいところです。ここでは、そんなインドネシアの言語について学ぶインドネシア語専攻の魅力を2点紹介しましょう。

まず1点目は、専攻内での一体感です。人数が少ないだけにとても仲良くなり、アットホームな雰囲気です。先生方も優しく、時には冗談を交えながら楽しい授業をしてくれます。分からないことがあっても、仲間や先生が助けてくれます。このように素晴らしい環境なので、しっかりと勉強すれば2年生になる頃には日常会話に困らないレベルになります。勿論、学祭や語劇祭などの行事にも楽しんで参加することができます。

2点目は、実際にネイティブと話せる機会の多さです。日頃の授業だけでなく、インドネシア人留学生との交流や現地の大学生との交流、インドネシアへの研修といった機会が多く用意されています。また、留学をしやすい環境も整っています。実際にコミュニケーションを取ることが語学最大の醍醐味ではないでしょうか。

インドネシア語はアルファベットで発音もローマ字読みすればほとんど通じます。数ある言語の中でも、最も習得を実感しやすい言語だと思います。来春、ぜひキャンパスでお会いしましょう！



左から2番目が私です。

留学体験記

2022年卒業 山村 侑加

皆さんはインドネシアと聞いて、どのような国を想像しますか？私が高校生のときは、インドネシアという発展途上国のイメージが強く、電気・水道・ガスなどのインフラもあまり整っていない国を想像していました。インドネシアにはそのような地域も多いですが、私が留学したジャワ島のバンドンという都市について言うと、その想像は間違っていました。

バンドンは首都ジャカルタから車で約3時間の距離に位置する都市です。ショッピングの街として有名で、モールや服屋が多く、買い物には困りませんでした。ジャワ島は人口が多いため、インフラも整っていて、断水や停電もなく普通に暮らすことができました。

ですが、やはり日本と同じように生活するには難しい部分もありました。私が直面した最も大きな問題は、食の問題です。現地の食事が身体に合わず、お腹を壊すことが多々ありました。体調を崩すと本当に辛く、日本に帰りたと思うこともありました。

そのような状況で支えてくれたのは、インドネシア人の友達と寮母さんでした。友達はお見舞いに来てくれて、寮母さんはお腹に優しい料理を作って持ってきてくれました。インドネシア人はフレンドリーで親切な人が多く、そこがインドネシアの最も好きなのところです。

留学を通して、インドネシアの好きなのところも、日本の好きなのところも、それぞれ明確になりました。皆さんもぜひインドネシア語を学んで現地に飛び込んでみてください。



フィリピン語専攻

Kumain ka na ba? (もう食べましたか)

フィリピン語専攻では、フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人、さらに、研究テーマを深めたり、社会に貢献したりするために、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない学生を求めています。



オフィス街の聖母マリア像

フィリピン・マニラ首都圏のオフィス街の一角にある大きな教会と巨大な聖母マリア像。300年ものスペイン支配、その後数十年アメリカの統治により、欧米のキリスト教と自由主義を支えにした、グローバルな性格の強いフィリピンのシンボル、なのでしょうか。だからいま年率5%を超える順調な経済成長を持続させ、世界中に優秀な労働力を送り出し、また新たな英語留学先として人気を集めている？

フィリピンの歴史経験はもっと複雑です。多文化の社会なのに、外国の支配によって外来語である英語で無理にひとつにされ、一握りのエリート層が特権を握る社会とされ、様々の社会対立を経験してきました。欧米文化へのなじみはグローバル化の進む中で有利ではあり、特に多くの人々が海外に出稼ぎに行きましたが、結局海外で頼りになるのは同国人であり、そこで心を通い合わせられる言葉は、英語よりも、タガログ語を元に国語として教えられるようになったフィリピン語でした。グローバル化の中でフィリピンは苦しみ、その中で英語に熟達すると共に、自分たちの言葉であるフィリピン語を熟成普及させていったのです。

30年ほど前、この教会が現在立っている地域に多くの人々が集い、非暴力による独裁政権の交代を求めました。教会の呼びかけとビジネス界の後援もありましたが、政権に立ち向かう勇気を奮った普通の人たちが、フィリピン語で励まし合って祖国の変革のために立ち上がったのが、この教会とアジア人の風貌を持った聖母像が記念しているこの場所です。

グローバル化の中でこそ、自分たちの言葉を確立しつつあるフィリピン。その国語の魅力をぜひ一緒に学んでみませんか。

学生の声

3年 木下 莉里

Magandang hapon po! 皆さんこんにちは！

「フィリピンって？」「フィリピン語はどんな文字なの？」

フィリピンについて馴染みのある人は多くはないかもしれませんが。フィリピンは、日本から近い東南アジアの島国で人口も約1億人！実は私たちにもとても馴染みやすい国なのです。さらに、フィリピン語は文字もアルファベットで文法も複雑ではなく、比較的取り組みやすい言語です。

私たちは、1年生のうちから専攻語としてフィリピン語を学習します。外国語学部というと、言語の勉強ばかりというイメージが強いでしょうか？実際には、様々な専門分野を持つ日本人とネイティブの計5人の先生方が、言語だけでなく、フィリピンの歴史や政治、社会学や地域研究等を教えてくださいます。それに加え、東南アジア5専攻の専攻科目も多数開講されています。まさに、地域専門性が高く学問横断的な学習のできる非常に魅力的な学部・専攻に入学することができたなあ日々感じています。

また、フィリピン語専攻は1学年が10数人とかなり少人数でアットホームな雰囲気なのも特徴です。毎日一緒に授業を受け、苦楽を共にするなかで、個性豊かなクラスメイト達とはいつの間にか距離が縮まり、とても濃密で楽しい学生生活を過ごしています。

外国語学部には専攻語が多く、迷っている人もいるかもしれませんが、言語を学び始めるのに特別なきっかけは必要ありません。

フィリピン語専攻でお待ちしています！

Maraming salamat po!



私木下は後列の1番左のピンク色の風船を持っている者です。

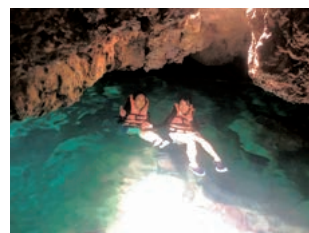
留学体験記

2022年卒業 西尾 絵里

私は約7カ月間、フィリピンに留学しました。高校生の頃からフィリピンの貧困について興味があったため、大学では開発学を専攻し、また、NGO団体でのインターンも行いました。大学での授業で一番印象に残ったのは、ある村を訪問したフィールドワークです。舗装されていない道路を車で1時間ほど走り、小さなボートに乗ってダムを渡り、森の中を進み、さらに橋のかかっていない川を太ももくらいまで浸かりながら進んだ先にある小さな村。病院などの設備がなく、インターネットもない、日本に住む私たちとは全く違う環境で暮らす人々たちとの交流は、日本では体験出来ないことで、とても貴重な体験になりました。また、NGO団体でのインターンでは、実際に貧困地域に出向き、そこで暮らす人々と直接会って実状を聞くことができ、さらに貧困問題への興味が増しました。

と、ここまでは真面目な話をしましたが、留学中は勉強だけでなく、遊びにも沢山出かけました。綺麗なビーチや遊園地へ遊びに出かけたり、友達とパーティーをしたり、とても楽しく優雅に過ごすことができました！

“フィリピン＝治安が悪い怖い”と思っている方も多いと思いますが、実際はフィリピンの方はフレンドリーで親切で、とても住みやすい国です。日本から近く、人々も優しく、物価も安いフィリピンは、一歩踏み出すには最適南国だと思います！



タイ語専攻

สวัสดี (サワディー)

タイ語専攻では、タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える学生を求めています。



タイといえば稲作・象・ムエタイ・仏教寺院というイメージを持つ人が多いと思いますが、現在のタイ国は、農林漁業就労者の人口が全就労人口の50%を割り、工業化とサービス産業を中心とした経済成長を遂げている「中進国」です。このようなタイの経済発展・工業化にもっとも深く関わっている国の一つが日本です。たとえば、タイの自動車産業は東南アジアの中心的役割を担っていますが、日本の大手自動車・自動車部品メーカーがそれを支えています。

タイは、豊かな自然環境、開放的で自由な雰囲気、安定した社会体制、物価の安さなど、外国人にとっても大変居心地の良い国であり、タイを訪れる日本人観光客は年間約180万人(2019年)、長期滞在をする日本人の数は約8万人(2020年)にのぼります。また、訪日タイ人観光客数が近年急増しており、2019年には130万人を超えるタイ人が日本を訪れました。日本国内には留学生を含むタイ人長期滞在者が約5万人(2019年)います。このように、日本とタイは経済的な面に加え、人的交流の上でも大変密接な関係を築いています。

70年以上の歴史を持つタイ語専攻の卒業生は社会の様々な分野で活躍しており、日タイ間の架け橋となる人材も多数輩出しています。タイ国内に在住する卒業生も多く、バンコクの同窓会の活動は非常に活発です。

タイ語専攻では、タイ語の運用能力を養いながら、タイについての総合的な知識を学ぶためのカリキュラムを組んでいます。1・2年次にタイ語の基礎を学び、その上で3・4年次にはタイの言語、社会・文化、政治・経済、文学、歴史について専門的に学べるようになっています。

また、交換留学の協定を結んでいる大学が多いので、3・4年次にタイの大学に留学する学生も多数います。外国語学部をはじめ、大阪大学に留学しているタイ人留学生との交流も盛んで、授業だけではなく、キャンパスライフの中でタイの人と接する機会が多いのも特徴です。

学生の声

3年 藤原 璃子

みなさんは東南アジアの国タイと聞いて、どのようなことを思い浮かべますか？よく知らない…という方も多いのではないのでしょうか。かくいう私も、タイ語専攻に入学するまでは、タイについてあまり詳しくは知りませんでした。タイ語専攻に興味はあるけれどあまり知らなくて不安…と感じている方—大丈夫です！タイ語専攻では入学してから、先生方がタイ語やタイの社会などについて、基本から教えてください。タイについての前提知識が必要とされる、なんてことはありません。

タイは知れば知るほど、奥が深い国です。自由で寛容な一面がありながらも、独自の王政が続いていたり…そして、タイ語専攻では言語はもちろん、なぜそのような社会なのか、といったことについても学ぶことができます。その過程で日本社会や文化との比較をする機会も多くあります。タイに関することだけでなく、さまざまな事柄に対して新たな視点を得ることで、自分の視野が広がると思います。

さらに、タイ語専攻は交換留学協定先校が充実しているというのも魅力の一つです。多くの学生は3年次に留学に行くのですが、留学に行くだけでなく、日本にいても協定校からの留学生との交流の機会があります。そのほかにも、タイ語で劇をする機会などもあります！

日本でタイ語を学べる学校はそう多くありません。この機会に、タイ語専攻で新たな価値観や文化に触れ、自分を豊かにする大学生活を過ごしてみませんか？



留学体験記

4年 大野 可悦

私は2021年8月から2022年5月までの10ヶ月間、タイの首都バンコクにあるカセサート大学に留学をしました。

きっかけは1年生の夏休みにタイ語専攻の同級生と行ったシラパコーン大学の研修でした。1週間という短い研修でしたが、制服を着て大学生活を送るタイの大学生達を見て、より留学したいという気持ちが強まりました。

実際は、コロナの影響で10ヶ月の間ずっとオンラインでの授業でした。科目によって、教室で何度かタイの伝統工芸品作りを体験したり、バンコク内の寺院を巡ったりしました。カセサート大学の授業はタイ語を学習する外国人用の専攻となっており、タイ語専攻の先生方は授業の他にも、留学生向けにクリスマス会やタイ人学生との交流会を積極的に開いて下さり、そこでも多くのタイ人学生と知り合うことができました。また、中国や韓国、フランスといった他の国から来た留学生の語学力の高さに触発され、私ももっとタイ語の勉強を頑張ろうという気持ちになりました。

留学前はかなりの心配症で、何でも不安に思い心配しがちな性格だったのですが、今回の留学を通して様々な経験をし、タイの人たちのマイペンライ(タイ語で「大丈夫」)精神を目の当たりにしたことで、以前に比べて物事を楽観的に見ることができるようになった気がします。是非皆さんも、タイ社会の寛容で柔軟な価値観に触れてみてください。



ベトナム語専攻

Xin chào các bạn! (シーン チャーウ カーック バーン)

ベトナム語専攻では、ベトナムに強い関心を持ち、ベトナムの言語と文化の学習に意欲的な人、言語的・文化的背景のちがいを尊重する人、そして、学んだことを活かして国際的な仕事に就きたいと希望する学生を求めています。



ベトナム語専攻では卒業論文をベトナム語で執筆し、口頭試問もベトナム語で行います。

ベトナム社会主義共和国は、東南アジア大陸部の中で約1億人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元気」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻も、大阪外国語大学時代からの古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元気」な専攻のひとつです。

古き良き伝統とは、「Đại gia đình Việt Nam [大家庭越南] (大家族ベトナム)」を正に体现する専攻内の結束の強さです。ベトナムの誇る「hiếu khách [孝客] (客をもてなす)」文化がここにはあります。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合って一緒に勉強する姿もベトナム語専攻の特徴のひとつです。日本にいながら常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。

ベトナムと日本の関係は意外と古く、「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。仲麻呂が赴いた当時安南都護府と呼ばれた地は、今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。現在のベトナムに目を向けてみても、箸や爪楊枝を使い米を主食とする食文化、日本語の敬語にも通ずる相手を気遣う言葉遣いなど、我々日本人が日々大切にしている感覚をベトナムの中にたくさん見つけることができます。

ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている皆さんも、ここに身を置いて大家族ベトナムの空気を思う存分味わってみませんか。必ずや有意義な学生生活が待っていることを約束します。



語劇祭では、ベトナムの昔話を上演します

学生の声

3年 仁部屋 みらい

ベトナム語専攻は、他の専攻語に比べて教授と学生たち、先輩後輩同士、そしてOB、OGとの距離が近い所が、最大の魅力であると私は考えます。それもそのはず、ベトナムという国は人と人との繋がりをなによりも大事にする国だからです。おせっかいで、あったかい国、それがベトナムなのだとこの三年間で学びました。土足で踏み込んでくるのは、相手に興味を持っているが故であり、おせっかいなのは、他者に対する配慮を常に怠らない証とも考えられます。言葉はただ発するものではなく、紡ぐものであると改めて感じさせてくれる言語、それがベトナム語だと私は思います。

ここベトナム語専攻では、そんなベトナム語について学び、使う機会がたくさん用意されています。例えば一年次の夏にはベトナムへの研修旅行が、二年次には夏祭りと言劇祭が、三年次からはゼミに分かれての卒業論文制作が本格的にはじまります。留学をする学生も多く、進級とともにベトナム語を学ぶ段階からベトナム語で学ぶ段階への移行が進みます。論文執筆や口頭試問を全てベトナム語で行うというかなり高いハードルがありますが、考え方や伝統、習慣、国民性など四年間を通してみっちりベトナムについて勉強できる環境が間違いなくここには整っています。何よりベトナム語を中心とした人と人との繋がりと、そしてその強さこそが、ベトナム語専攻の魅力であり、代々受け継がれてきた財産でもあります。みなさんもベトナムにハマってみませんか？教員学生一同、みなさんの入学をお待ちしています！



左から二人目、中央左側が本人です。

留学体験記

4年 植野 雅登

2022年4月からベトナムの首都ハノイにあるハノイ人文科学大学へ留学しています。コロナウイルスの影響で、2年間途切れていたベトナム留学が解禁され、やっとの思いでベトナムに渡ることができました。私が留学している大学のベトナム語の授業は、プライベートレッスンで、聴解や語彙など自分の弱い部分に合わせて、またトピックも自分の興味のある分野に合わせて授業を進めてくださるので、自分のベトナム語力が叩き上げられていることを実感しています。

この留学での私のモットーは「ベトナムに染まる」です。バイクでの移動、市場での買い物、食事をはじめ、生活をなんでもベトナム式に行います。分からないことは、自分で調べようとしても分かりません。近くの人に聞けば、なんでも親切すぎるほどに教えてくれます。そんな中で、「ベトナム人かと思ったわ」と言われることが最高の誉め言葉です。

ハノイの街中は、最初の都市鉄道の開通、幹線道路や高層マンションの工事など、今がまさにベトナムの「過渡期」です。そんな目まぐるしいベトナムでの生活には、「おもしろい」が溢れています。皆さんもぜひ、ベトナムで、日々変わりゆく文化、言葉、街並みなどベトナムの「おもしろい」を探ってください。



私は、一番右側の黒いTシャツの者です。

ビルマ語専攻

မင်းသားပြုံးပြီလား။ (食事をすませましたか)
(タミンサー・ビーバー)

ビルマ語専攻では、ビルマ語の習得を基本にミャンマーの言語や文化、歴史、社会などの探究をとおして、他者を深く理解し共に生きていく意志を育みたいと希望する学生を求めています。



あるお寺の境内で出会った子どもたち(モン州モラミヤン市、2003年2月)

「おもしろい文字ですね」
「目の検査のようですね」

検眼表の円い図形や知恵の環を思い起こさせるユーモラスなビルマ文字で書かれたビルマ語は、ミャンマー連邦(1989年対外的な英語呼称 Burma を Myanmar に変更)の公用語であり、5,141万(2014年)国民の共通語(母語人口はその4分の3強)です。

ビルマ語の最古の文献は通称ミャゼディ碑文(1112年)で、四面体の石柱にバガン朝のチャンシッター王の遺徳を讃えた顕彰碑がモン語・パリー語・ピュー語・ビルマ語の4つの言語で刻されています。今では死語となったピュー語が含まれていることから、この碑文は「ビルマのロゼッタ石」と呼ばれたことがあります。

ビルマ語の話し手の社会は、インド文明とシナ文明の影響を受けた点で、また、稲作文化を基調とする点で、東南アジアのほかの地域との共通性をもっています。宗教的には、南伝上座部仏教を信仰する人たちの社会と、社会規範や価値観を共有しています。さらには、少数民族との接触による文化の相互作用も、東南アジア大陸部に共通にみられる現象です。こういった関心は、遠く北方の雲南・貴州の地の人々の文化にも私たちがいざな誘ってくれるでしょう。

ビルマ語を専攻言語として選ぶ人たちは、当然のことながら、まず、ビルマ語の運用能力を身につけることが求められます。そして、その背後にある基層文化を言語・文化・社会の各面にわたって、総合的に学ぶことになります。また、関連する言語として、チベット語のほか、カレン語など少数民族の言語も学ぶことができます。

(注「ビルマ」という地名は、幕末の地理書で、実作省吾の『坤輿図説』(1845年)にみえる「毘爾満」を嚆矢とするようである。一平田由美氏の教示による)



ミャゼディ碑文(バガン博物館蔵のA碑文)

学生の声

4年 佐藤 萌衣

私は高校生の時にミャンマーという国に興味を持ち、もっと知りたいという思いでビルマ語専攻に入学しました。そんな何気ない好奇心から始まりましたが、ビルマ語専攻で多くの貴重な経験をし、数えきれないほど多くのミャンマーの魅力を知ることができました。

ミャンマー人の方々と交流する中で魅了されたのは、その親しみ深い笑顔と優しさです。このような魅力や素敵な価値観は、言語や文化を学んだからこそ強く感じることが出来たのだと考えています。

ビルマ語専攻での大学生活は大変充実していて楽しいイベントも多くあります。比較的少人数の専攻であるため非常にアットホームな環境で、学年問わず話せる機会が多く留学体験も様々なことを聞くことができました。

普段の授業では留学生を交えて意見交換をしながら言語を上達させたり、自分の研究を発展させたりしています。また、伝統楽器である竪琴を実際に習い、時にはネイティブの先生がミャンマー料理を振る舞ってくださることもありました。年に1度の語劇祭では、民話を基に言語や文化を学びながら皆で協力し1つの作品を作り上げました。このように机に向かって勉強するだけでなく、様々な活動を楽しみながらアクティブに学習することができるところもビルマ語専攻の魅力だと考えています。

受験生の皆様にもビルマ語専攻に興味を持ちミャンマーの魅力を感じて頂けたら嬉しいです。



学生の声

4年 三原 千穂

外国語学部を志望するみなさん、မင်္ဂလာပါ (こんにちは)!

私は日本でも話者の少ない言語を話せるようになりたいと思っていましたが、そんな時にこの丸っこいビルマ文字に出会い、惹かれて、ビルマ語を選びました。入学当初は文字を学ぶところから始まり不安もありましたが、4年生になった今ではビルマ語の読み書きはもちろん、ミャンマー人留学生とも会話を楽しめるレベルにまで上達しました。

外国語学部では言葉だけではなく、その国の歴史、社会、文化など、専攻地域のことをいろんな面から学ぶことができます。さらに優しくて勤勉で、暖かいミャンマーの人たちとの出会いなど、言語以外にもビルマ語専攻に入学していなければ出会わなかったであろう人との出会いもあり、ミャンマーに対する興味は4年経った今でも尽きることがありません。なんと授業外では、ミャンマー人の先生が美味しい手料理を振舞ってくださることもあります!

私は数ある専攻語の中から、ビルマ語専攻を選んだ本当に良かったと思っています。言葉をはじめ、歴史、社会、文化、そしてミャンマー人のことを知る大学生活を経て、ミャンマーは私にとって思い入れ深い、これからの人生でもずっと関わっていきたい国になりました。ビルマ語専攻は一人一人がミャンマーと深く関わることでできるチャンスを得られる専攻です。皆さんもビルマ語を学び、一生の思い出になるキャンパスライフを送ってみませんか?



右下が私になります。

ヒンディー語専攻

नमस्कार (ナマスカル)

ヒンディー語専攻では、ヒンディー語習得への強い意欲を持ち、ヒンディー語を通じてヒンディー語圏の言語、文学、文化、社会、歴史などを深く研究したいと希望する学生を求めています。



インドのアーグラ市にあるタージ・マハル

インドの人口は13億人を超えており、近い将来に中国を抜いて世界一になると言われています。これほどのすごいエネルギーをもったこの国について皆さんはどれだけのことを知っているでしょうか。仏陀、ガンディー、カースト制度、ヨーガ、カレー、貧困、核保有国というイメージが定着しているのではないのでしょうか。それらは、もちろん一面の事実ですが、現実のインドは、立派に民主主義が働いており、めざましい高度成長を遂げつつあり、とくにIT産業の発展はめざましいものがあります。アジアの市場を見ると、「中国の次はインドだ」といわれるのも無理はありません。伝統的にインドと日本は、仏教という精神文化を通じて交流がありましたが、これからは文化・社会・政治・経済のあらゆる分野での交流が重要となるでしょう。

私達ヒンディー語専攻では、トータルなインド文化理解の前提として、もっとも重要な公用語であるヒンディー語の習得を非常に重視しています。最初の1年間は、徹底的に語学の訓練にあてられます。これを武器として、他大学には真似のできないインド研究を目指しているのです。ヒンディー語をマスターすれば、インドの知識の无尽の宝庫が諸君の前に開かれます。ヒンディー語は語順も日本語とよく似ており、文法も簡単で整然としています。発音は少し難しいものもありますが、一語一語ははっきり発音してくれるので非常に聞き取りやすい言葉です。世界で一番多く映画が制作されるのはインドで、その中でもヒンディー語映画は人気があり、世界中に輸出されています。日本でも近頃、インド映画を見る機会が増えてきました。字幕なしでこの言葉が理解できればどんなに楽しいことでしょう。皆さんの憧れるカッコいいスターに会ってヒンディー語で話すというチャンスに恵まれるかもしれません。

厳しい授業でもヒンディー語学習の楽しさは十分満喫してもらえると信じています。優秀な諸君、好奇心旺盛な諸君、ヒンディー語専攻に來たれ!



インドの20ルピー紙幣の裏上と左下の文字がヒンディー語。右下が英語。左のボックス内にその他の15の言語で20ルピーと書かれている。

学生の声

4年 金子 明日香

नमस्कार! (ナマスカル) 私は南アジアの文化や社会に興味があり、ヒンディー語専攻を選びました。3年生の後期に国連ユースボランティアという大学のプログラムでネパールへ派遣されました。私が派遣されたのはUNCDF(国連資本開発基金)という後開発途上国を対象とした国連の投資機関です。業務ではネパールの地方自治体の課題やインフラ等の資産管理などについてレポートを作成し、日本においては学べない現地の社会問題について知る機会を得ました。

ネパールでの滞在中は豊かな文化や自然に魅了されました。世界遺産にも登録されているカトマンズの寺院や建造物、天気の良い日には遠くにヒマラヤが見え、野良犬や牛、インドやチベットの料理など、毎日様々な体験の連続でした。忘れがたいのが現地の人々との交流です。路地でチャ(ミルクティー)と一緒に飲んだり、猿に食べ物をとられそうになっているところを通りすぎりのおじさんに助けってもらったり、UNCDFやUNV(国連ボランティア計画)の方々と大家さん一家には渡航前から帰国まで手厚くサポートしていただきました。ネパールでは英語とヒンディー語が堪能な方も多く、現地滞在中はヒンディー語を学んでいたことがとても役に立ったと思います。

みなさんもヒンディー語を学んで今まで知らなかった世界に足を踏み入れてみませんか?



学生の声

2年 大迫 睦希

ヒンディー語専攻の大迫です。

突然ですが皆さんインドと聞くと何を思い浮かべますか?

カレー、映画、タージ・マハル、ガンジス川、サリー、ヒンドゥー教…色々出てきますね。インドには色々なものがあるのでからヒンディー語専攻の人たちがヒンディー語専攻を選んだ理由も色々あります。

ヒンディー語専攻では1,2回生のときは言語を中心に学びます。1回生では基礎的な文法を学び、2回生では主にヒンディー語で書かれた文章の読解をします。ヒンディー語はデーヴァナーガリー文字という普段目にすることがない文字を使います。文字自体は難しいですが語順は日本語と同じなので取付きやすいです。3回生からは1,2回生の間に身につけたヒンディー語を運用して自分の興味のある分野を学びます。

ヒンディー語専攻には3人の日本人の先生方と1人のネイティブのインド人の先生がいます。ネイティブの先生はたまにインドのお菓子を持ってきてくれます。

僕はスピーチコンテストに出場してインドの方々に弓道を紹介したり世界ヒンディー語の日にヒンディー語専攻の皆でヒンディー語の歌を歌ったりしました。また、語劇祭があったり夏休みにインドへの短期留学があったりとヒンディー語に触れるたくさんの機会があります。

ヒンディー語専攻で皆さんに会えることを心より期待しています。



ウルドゥー語専攻

السلام علیکم

(アッサラーム・アライクム)

ウルドゥー語専攻では、文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語をしっかりと学習したい人、ウルドゥー語を通じてウルドゥー語圏の文学、文化、社会などを深く研究したいと希望する学生を求めています。



パキスタンの新郎新婦

ウルドゥー (Urdu) 語は、パキスタンの国語です。インドでも主要言語の一つに数えられています。文字はアラビア文字を用いますが、インド・ヨーロッパ語族に属します。

ウルドゥー語は、インド亜大陸を支配したイスラーム教徒たちの用いていたペルシア語の大きな影響を受けて形成された言語です。アラビア語やペルシア語の単語が非常に多く含まれています (ペルシア語はアラビア語の影響を受けましたので、ペルシア語には数多くのアラビア語の単語が含まれています)。ですから、ウルドゥー語を習得すると、日本人が中国語の文章の内容を推測できるように、アラビア語やペルシア語の文章の内容をある程度推測できるようになります。また、ウルドゥー語を勉強すると、ヒンディー語やパンジャブ語など、他の南アジアの言語に関する知識も身につけることができます。

入学すると、1 年次から集中的に文法を学びます。会話と発音はパキスタン人の先生が担当します。2 年次には中学・高校レベルの教科書を読み、3・4 年次には関心に応じて、文学、文化、社会、経済などに関する専門的な授業を選択します。

南アジア研究には英語の文献が不可欠ですが、南アジアの人々の、英語の資料には現れてこない声を聞くことの大切さを学んで欲しいと思います。



パキスタンの小学4年生用のウルドゥー語教科書

学生の声

2年 材井 龍翔

どこ専攻ですか? ○○語です!

外国語学部なら避けては通れない必須の会話文です。そして、私たちウルドゥー語専攻にとって得意な会話でもあります。

「えー初めて聞きました! ウルドゥー語ってどこの国の言葉ですか?」「主にパキスタンです!」「どんな言語なんですか?」「実はヒンディー語と話し言葉はほとんど同じなんですけど文字はアラビア文字で...」話し始めると止まりません。

と、ここまで来て申し遅れましたつかみが完璧ウルドゥー語専攻二回生の材井龍翔です!

私たちの学ぶウルドゥー語は日本で話せる人はほとんどいませんが、世界での話者数は数億人を超えます。だからこそ、近年急成長を遂げる南アジアで通じるウルドゥー語を話せるというのは大きな強みになります。実際、ウルドゥー語専攻の卒業生でパキスタンの大使館に就職された方もいます。そして、何と言ってもウルドゥー語専攻は面白い!! これが一番大事ですね。ウルドゥー語は日本語と文法は似ているのに名詞に男女の区別があり、例えば花は男性名詞で鼻は女性名詞だったり、日本語にはない発音があったりと学べば学ぶほど奥が深い言語です。そして、ウルドゥー語を学べばガザルと呼ばれる詩やイスラーム、南アジアの文化についても知ることが出来ます。少人数だからこそ先生の距離の近さも魅力です。

一度しかない4年間。せっかくなら阪大でしか学べない、自分の知らない世界へ飛び込んでみませんか。



留学体験記

2022年卒業 深沢 友香

私は2019年10月から2020年3月の約半年間、同級生の男子生徒2人とパキスタンのラーホールにあるパンジャブ大学オリエンタルカレッジに留学していました。

ラーホールはパキスタンで2番目に大きい歴史のある都市です。歩いているだけでも話しかけてくるラーホールの人々の人懐っこさとエネルギーに、最初はただ圧倒されました。

私が生活していた大学の女子寮は門限が18時だったので、多くの時間を寮で過ごしました。日本とは全く違う環境と制限のある生活に不安もありましたが、入寮した初日から寮の方々が私を受け入れてくれたのですぐに馴染むことができました。言葉や文化、宗教の壁を全く感じなかった訳ではありません。言葉が足りず友人と少し陰湿な雰囲気になったこともありました。しかしそのような経験から、互いに違うということを理解し尊重し合うことの大切さを学びました。誰かの部屋に集まってチャイを飲みながら、教科書やネットには載っていない本音を語り合った時間はかけがえのない財産です。また、彼女たちとの話を通じて、それまでどこか他人事のように感じていた社会問題などに対しても真剣に考えるようになりました。

留学前は不安も大きく、パキスタンへの留学は私にとって非常に大きな挑戦でしたが、この経験によって言語能力が向上したことはもちろん、人間的にも成長できました。これからも留学で得た学びを様々な場面で活かしていきたいです。



アラビア語専攻

أَهْلًا وَسَهْلًا (アハラン・ワ・サハラン)

アラビア語専攻では、アラビア語習得への強い意欲を持つと同時に、日本も含めた世界の言語・歴史・社会・文化に限りない関心を寄せ、その学究を通じて多様化する現代社会への洞察を深めたい学生を求めています。



カイロ下町風景

アラビア語は、3 億人以上の話者を擁すると考えられる世界屈指の大言語であり、その重要性はグローバル化する現代世界においても増大しています。現在アラビア語が話されている地域は、ヨーロッパ・アフリカ・アジアの中間、つまり旧世界の中心に位置し、そこに 20 を超える国家が存在しています。古代から文明が栄えてきた地域、また石油や天然ガスなどの資源にめぐまれた地域が数多くあり、文化史的にも政治的にも大きな重要性を有しています。さらに言えば、アラビア語は 20 億人近くが信仰するイスラームの儀礼言語であるため、宗教的重要性という点でも無視することができません。

他方、中世に目を向ければ、大航海時代前夜の地球上で最も広く通じた言語はアラビア語であり、アラブ人大旅行家やイスラーム学者たちは、世界中でこの言語を使って叡智を集積していました。いみじくも、スペイン語、ペルシア語、スワヒリ語、インドネシア語をはじめとする世界の諸言語に見られる膨大な量のアラビア語由来の単語が、この歴史を物語っています。

本専攻では、1-2 年次に文語アラビア語をじっくりと学んだ上で、3-4 年次には語学力を駆使しつつ自らのテーマを見つけ出し、最終的には卒業論文という形でまとめてゆきます。本専攻の教員は、古典期から現代までのアラブ文学や、地域ごとに大きく異なる口語アラビア語などを専門としつつ、広くアラブ地域の文化や近隣の諸言語について講じています。

アラビア語は生易しい言語ではありませんが、同時に難解なエニグマでもありません。あなたはこの広いアラビア語の世界と出会い、何を見つけ出すでしょうか。



カイロ大学正門



カイロ大学中庭

学生の声

4年 小田 大夢

アッサラームアライクム

皆さんこんにちは。アラビア語と聞いて何を思い浮かべますか？右から左へ書く不思議な文字。聖クルアーンの言葉。普段生活していてあまり馴染みのない方が多いかもしれません。あまりに馴染みがなさすぎてエジプト語？と聞かれることさえあります。

しかし、アラビア語は国連公用語の一つで、世界で5番目の母語話者数を有します。最近ではアラビア語を公用語とする湾岸諸国ではドバイ万博などの超大型イベントが頻繁に開催され、アラビア語を運用できる人の需要が高まっています。

大阪大学のアラビア語専攻は四年間アラビア語を学べる数少ない学舎です。普段はニュースなどで話される正則アラビア語を学びますが、エジプト出身の先生の授業ではエジプト方言も学ぶことができます。アラビア語は決して生易しい言語ではありませんが、アラビア語の方言や文学を研究されている先生方が懇切丁寧に教えてくださいますので、一生懸命食らいついていきましょう。

留学はコロナ禍で渡航が難しい状況が続いていましたが、今年度はエジプトやヨルダンに留学している方が数名います。一・二年生は、春にエジプトに1ヶ月の短期留学するプログラムもありますのでお試し留学するのもお勧めです。

四年間一つの言語をやり抜くのはアラビア語に限らず、言語への愛が必要不可欠です。アラビア語を愛し抜く覚悟ができた方は、どうぞ本専攻へ！お待ちしております。



留学体験記

4年 西村 菜優

!السلام عليكم アラビア語専攻三年生の西村菜優です。

わたしは大学を一年休学し、約 10 ヶ月間チュニジアのマナール大学付属ブルギバスクールに語学留学をしていました。

アラビア語というと、日本ではマイナーな言語、どこかマイナスイメージがあるかもしれませんが、アラビア語はアラビア半島〜北アフリカまでの広大な地域で公用語とされてる言語で、イスラームの宗教語としての側面もあります。大阪大学は日本で数少ないアラビア語を専攻できる大学です。

はじめての海外生活かつパンデミック後初の日本人留学生だったので、準備から現地生活まで容易な道のりではありませんでしたが、様々な国からチュニジアに来た留学生たちと、切磋琢磨しながら同じ教室でアラビア語を勉強し、チュニジアで生活したことは、自分のアラビア語運用能力を向上できただけでなく、多様性の中で生きるというかけがえのない経験をすることができました。英語やメジャー言語ができれば充分、なぜアラビア語？と思う人や、専攻を決めるのに悩む受験生も多いと思います。しかし、グローバル化が進む今でさえ、アラビア語という「鍵」がないと開くのが難しい「扉」がまだまだ存在するのも事実です。わたしにとってアラビア語はアフリカ・中東地域を知り、世界の多様さを知る「鍵」でした。アラビア語を勉強することは大変ですが、きっとそれを通じて素敵な経験が待っています。アラビア語専攻でお会いしましょう！

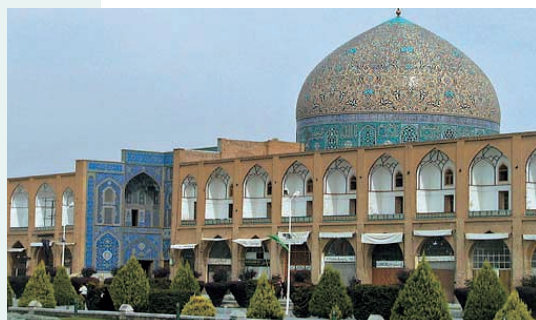


ペルシア語専攻

سلام

(サラーム)

ペルシア語専攻では、ペルシア語の着実な運用能力を身につけ、言語を基盤にイランおよび西アジアの文化と社会を深く探究しようとする、知的好奇心にあふれた学生を求めています。



シェイフ・ロトフォラーモスク(イスファハーン)

ペルシア語はインド・ヨーロッパ語族に属し、英語やドイツ語などとは親戚関係にある言語のひとつです。その言語資料の歴史はかなり古く、古代ペルシア語は紀元前6世紀以降アケメネス王朝の王たちが碑文で用いたのに始まります。

私たちが勉強するのはイランがイスラム化された7世紀半ば以降、9～10世紀にかけて文章語として確立された近世ペルシア語です。この言語は、イスラムの影響で、文字はアラビア文字を用い、大量のアラビア語の単語が借用語として入ってきています。

ペルシア語はもともとはイラン南西部の一方言でしたが、イラン文化の発達と拡大に伴い、中世にはイランだけでなく、東は北インド、アフガニスタン、西はトルコ、北は中央アジアにわたる広大な地域で公用語、学術語として用いられ、イスラム世界においてアラビア語に次ぐ重要な地位を占めました。その名残が現代のタジキスタンのタジク語やアフガニスタンの公用語の一つであるダリー語です。これらの言語は、名称こそ異なれ、実体はペルシア語です。

また、多くの優れた文学作品がペルシア語で書かれました。ゲーテは散文学の古典『カーブースの書』やハーフェズの抒情詩集を耽読し、その啓発を受けて『西東詩集』が生まれたと言われています。とくに詩文学に優れ、19世紀のフィッツジェラルドの英訳で世界中に名声を博したオマル・ハイヤームの『ルバイヤート(四行詩集)』、フェルドウシーによる英雄叙事詩『王書』、イラン人がもっとも愛好するサアディーの『薔薇園』など世界文学史上に名を留める名作が数多くあります。

イラン文化は東西文化交渉史においても大きな活躍をしています。シルクロードを経てイラン文化が日本に渡来し、少なからざる影響を与えたことはもはや常識となっています。美術では、建築、庭園、陶器、絨毯にも名品が少なくありません。

こうした豊かな伝統に支えられたイラン文化をペルシア語の学習を通して学んでいきます。

学生の声

4年 岩田 美海

イランという国についてどんなイメージがあるかと問うと、皆さん様に「戦争」「危ない感じ」と口にしします。今この文章をご覧になっている方の中にも、同じような印象を抱いている方は少なくないのではないのでしょうか。しかし実際は美しい自然と数々の世界遺産を誇る、魅力にあふれた国です。首都のテヘランやかつて「世界の半分」と謳われたエスファハーン(世界史で聞いたことがあるかも)、その他長い歴史を垣間見る古都には多くの観光客が訪れています。個人的には数ある専攻語の中でもイメージのギャップが激しい国だと思います。

これは実際に言語を学んでいるからこそ感じられることです。ペルシア語専攻では民話や古典、小説、実際に使用されている教科書を読む授業、お題についてプレゼンする授業、現地のニュースを集める授業など、文化や歴史だけでなく現状についてもしっかり学ぶことができます。これら様々な授業やイラン人の先生方との会話を通じて、世間一般のイメージとの乖離を感じるようになります。この感覚は専攻している人にしか味わえない特権です。文化や国際関係、興味の入り口は様々ですがきっと世界の見方が広がります。

خیلی خوش آمدید. متشکرم!
最後までお読みいただきありがとうございます。



留学体験記

2022年卒業 高林 由万

サラーム(こんにちは)! ペルシア語を学んで5年、入学当初はミミズにしか見えなかった文字も、遠い国に感じていたイランも、今となっては身近なものに感じられ、イラン・ペルシア語にどっぷりつかった大学生活を送っています!

私は、約半年間イランの首都テヘランにある語学学校に留学をしました。ここでは、ペルシア語を学ぶ世界各国の留学生と共に勉強をしました。授業では、先生の話を止めてまで質問攻めする他国の学生に刺激を受け、「今日は絶対自分から発言しよう!」と日々心を奮い立たせていました。授業は午前中のみだったので、午後からは…家庭教師をつけペルシア語のレッスンを増やして頑張る日もあれば、イラン人の友達とオシャレカフェで何時間もおしゃべりを楽しむ日もありました。

イラン人はおしゃべり好きなので、普段の生活でも至る所で学習のチャンスがあります! タクシーの運転手さんやカフェの店員さんと意気投合し仲良くなることだってあります! 机上の学習はもちろん大事ですが、現地の方々からは本当に生きたペルシア語を教えてもらい、やはりこれが留学の醍醐味ではないかと思いました。

昨今世間を賑わしているイラン。少なからず危険なイメージがあるかもしれませんが、一度飛び込んでしまえば、そこには歴史ある美しい街並みとステキなおもてなし文化に満ちた人々との出会いが待っています。皆さんが、ペルシアの世界へ一歩踏み出すのをお待ちしております!



イラン人の友人と砂漠ツアーに参加

トルコ語専攻

Merhaba (メルハバ)

トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語と文化、歴史、社会に強い関心を寄せ、その公用語であるトルコ語の習得に対する熱意を保ちながら、異文化理解への意欲を決して蔑ろにすることなく、トルコひいては東地中海地域やイスラム文化圏、またトルコ系諸語が話されている中央ユーラシアについて探求したいと志す学生を求めています。



世界遺産「スルタンアフメト・モスク」

ボ

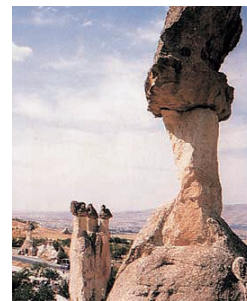
スポラス海峡をはさんで、アジアとヨーロッパの両大陸にまたがる国トルコは、日本の2倍強の国土を有し、そこにはおよそ7500万人の人々が住んでいます。

トルコ共和国の公用語であるトルコ語とはどんな言葉なのでしょう。トルコ語は、いろいろな意味で英語とは違うところの多い言葉です。そのためか、ヨーロッパなどでは、トルコ語は難しいと言われることがあります。では、私たちにとってはどうでしょうか。もちろん外国語ですから簡単なわけではないのですが、それほど難しくはないと言ってもいいでしょう。発音は取っつきにくい点もありますが、比較的早い時期に慣れることができるでしょう。単語の語形変化も規則的で、何ページもある不規則動詞の活用表の暗記に苦しむ、ということはありません。そして、何と言ってもうれしいのが語順です。トルコ語の基本語順は、主語―目的語―述語の順番で、日本語と同じです。前置詞や関係詞などはなく、日本語の助詞のようなもので文法関係を表します。また、文字がローマ字であることも、学習しやすい点のひとつです。

トルコ語は、系統的には、中央アジアで話されているウズベク語やウイグル語やカザフ語、シベリアで話されているヤクート語などと親戚関係にあります。

授業科目を簡単に紹介しておきますと、1・2年生ではトルコ語実習が中心となります。3・4年生では、上級トルコ語、トルコ語文法研究、トルコ文学、トルコ民族史などをはじめとする専門的な授業が組まれています。

社会人となる前に、私たちの専攻で、青春のエネルギーをぶつけて自己形成に挑戦してみませんか。



パジャバー (カッパドキア)

学生の声

4年 城内 めぐみ

トルコと聞いて、何を想像しますか？トルコアイス、親日国、ケバブ、、、などが挙げられると思います。トルコ語を学ぶと、トルコの様々な側面の解像度を上げることができます。トルコ語を操ることができ、尚且つトルコの文化や歴史に詳しい人物は日本でもそう多くはないはずです。「同期と楽しくトルコについて学びながら、希少価値の高い人物を目指せるクラス」それがトルコ語専攻です。少しワクワクしてきませんか？

さて、具体的に何を学ぶかについてですが、まず1年生で文法基礎の習得、2年生で会話練習や翻訳等の発展学習を行います。トルコ語は未知だと感じられる方も多いと思いますが、トルコ語は主にローマ字が使用され、日本語によく似た語順で成り立っているため、実は「日本人にとって比較的学習しやすい言語」と言われています。その後3年生以降はこれまでに学習したことを活かしてトルコの歴史や文化に触れ、ゼミにて他学生と意見を交えながら卒業論文執筆を進めます。

ここからは学生生活についてご紹介します。同期は20人前後と比較的少人数のため、アットホームな雰囲気が魅力です。外国語学部の学園祭では、皆でトルコアイスを販売しました(写真参照)。少人数クラスで4年間過ごすため、一生ものの仲間になること間違いなしです！

トルコ語専攻では、人生をより素敵な方向に導いてくれる学びと仲間が待っています。好奇心のままにトルコの世界へ飛び込んでみませんか？



私は写真の左側にいます

留学体験記

2年 安藤 公作

僕は2022年の2月と3月にトルコ語の語学学校に通うためにイスタンブールへ渡航しました。そこには日本での日常生活では到底想像できない社会が広がっていました。トルコはイスラム教の国ですが、一概にイスラム教徒と言っても保守的な人、世俗的な人と様々な人が存在しています。また人種的にも西欧的な顔立ちの人や中東のエキゾチックな顔立ちの人と様々で、多文化が共生している社会といえます。僕は実際にトルコ人の友達の家庭に二日間ステイさせて頂いたのですが、そこで受けたおもてなしの数々は計り知れないものでした。マトマやヨーグルト、香辛料がふんだんに使われた豪華な家庭料理が振る舞われ、車で地元の人しか知らない風光明媚なスポットへと案内して頂きました。どうやらトルコにおいてはおもてなしの精神が日本と比べても格段に強く、長距離バスで地方へと旅をした際にも、仲良くなった隣に座っていた男性が、無料でトルココーヒーをご馳走してくれるということがあります。トルコをこれ抜きには語れないと言える飲み物として、チャイとトルココーヒーがあります。トルコ人のコミュニケーションの文化は、それらを嗜みながらお喋りをするを基本にしており、もし初対面で緊張していても、その唯一無二の味が必ずその気持ちを一瞬でほぐしてくれ、彼らのフレンドリーさに引き込まれるはずです！



スワヒリ語専攻

Habari gani? (ハバリ ガニ?)

スワヒリ語専攻では、東アフリカのスワヒリ語のみならず、広くアフリカの言語や文化、そしてアフリカが直面する同時代的な問題について学んでいきます。アフリカの言語に関心がある人はもちろんのこと、アフリカを通して世界のグローバルな問題について考え、取り組んでいきたいと希望する学生を求めています。



キリマンジャロの雄姿

アフリカには 2000 近くの言語があります。その中でも、スワヒリ語は最も主要な言語の一つです。スワヒリ語は東アフリカの共通語として、タンザニア、ケニア、ウガンダなど 10 カ国以上で話されており、話者数は 1 億人を超えています。タンザニアとケニアの公用語であり、東アフリカ諸国の学校教育やマスメディアで用いられている重要な言語です。

本専攻は日本で唯一、学部からスワヒリ語を専門科目として学ぶことができるところです。そして、スワヒリ語を入り口としてアフリカの言語や文化、社会や政治について広く学んでいきます。

スワヒリ語の他に、ナイジェリアのヨルバ語やコンゴのリンガラ語などを学ぶことができます。また、アフリカの社会や政治経済、文化、文学などに関する講義科目があり、現地でフィールドワークをおこなっている多彩な研究者から、アフリカのさまざまな民族や社会について学ぶことができます。ゼミでは、アフリカの諸問題や言語・文化について、各自が関心をもつテーマを選び、みなで議論する中で考察を深め、卒論へと仕上げていきます。

アフリカは現在 55 カ国を数え、急速な経済発展を見せる一方、植民地時代の負の遺産を背負ったまま、貧困や政情不安、紛争など多くの問題を抱えています。グローバル時代の現代にあって、遠く離れている日本も、アフリカの現状は決して無関係なものではありません。アフリカを深く理解し、アフリカとの関わり方を考えていくことが、国際社会の一員である私達にも求められています。スワヒリ語を学ぶことから、その第一歩を踏み出してみませんか。



スワヒリ語専攻は仲がいいよ(語劇祭にて)

学生の声

3年 島田 龍人

私がスワヒリ語専攻を選んだ理由は、高校生の時、JICA に企業研修に行ったことがきっかけです。そこで、途上国の現実を知り、将来はアフリカで仕事がしたいと思い、様々な観点からアフリカを学ぶことができるこの専攻を選びました。1、2年生のころはスワヒリ語を中心に学びます。タンザニア出身のネイティブの先生の授業もあり、本場のスワヒリ語に触れる機会が得られることは、とても貴重なことだと思います。また、授業の中で先生方がアフリカでの経験談を話してくださることも、楽しみの一つです。日本での常識がアフリカでは通用しないことを、先生方の経験談から知ることができ、アフリカって面白い!とさらに思うようになりました。

3年生からは、政治経済や文学の授業も履修し、さらにアフリカについて深く学んでいます。また、スワヒリ語専攻の多くの人が学部生の時に、アフリカに留学や旅行に行くため、よりアフリカを身近に感じることができます。実際に私の友達も、この春休みにタンザニアとルワンダに旅行に行き、写真や動画をたくさん見せてもらいました。私は大学院でアフリカに行こうと思っているのですが、アフリカに行きたい!という思いが、さらに強まりました。アフリカについて様々な観点から学ぶことができ、日ごろから多くの刺激を得ることのできる、アフリカを学ぶには最高の環境が、スワヒリ語専攻には整っています。ぜひ、みなさんのご入学をお待ちしています!



クラスメイトたちと(一番左の青い服が僕)

留学体験記

3年 元川 美乃里

Hamjambo! 皆さん、こんにちは。

私は 2 年次修了後に休学し、ニュージーランドのクライストチャーチで 2 年間、ワーキングホリデーで働きながら暮らしていました。ちょうどパンデミックが騒がれ始めた頃に出発したので、到着してすぐにロックダウン生活がスタートし、思うように物事が進まないこともありました。

2 年間の中で最も苦労したのは仕事探しでした。ニュージーランドではどんな仕事でも経験が重要視されます。アパレルやバリスタの仕事をしたかったのですが、未経験のため雇ってもらえないことがほとんどでした。しかし運良く、未経験の私を選んでくれたカフェでコーヒーの種類を覚えることからスタートして、最終的にはバリスタとして可愛いラテアートコーヒーを作る日々を過ごせました。元々人見知りで、英語で人と話すのも上手ではなかったのですが、毎日色々なお客さんとお話しする中で会話が增え、それを楽しめるようになり、働くことが楽しいと思える素晴らしい経験になりました。

車で旅行に行ったり、小型飛行機に乗せて貰えたり、真夏のクリスマスを過ごしたり、ニュージーランドならではの経験も沢山しました。日本での忙しい生活とは違い、日々時間と心に余裕のあるのんびりした暮らしができて良いリフレッシュになりました。

知らない土地で新しい生活を始めるのは大きな挑戦でしたが、やってみたからこそ得られたものが沢山で、ニュージーランドに行って良かったと心から思います。



ラグビー観戦 試合後のフィールドで

ロシア語専攻

ЗДРАВСТВУЙТЕ! (ズドラーストヴィチェ!)

ロシア語専攻では、ロシア語圏の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大に関心を持つ学生、そして何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考え、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めています。



エルミタージュ美術館

日 本海を越えれば、そこにはもう広大なロシアの大地が広がっています。歴史的、経済的、政治的にとても深い関係にあるロシアと日本。この二つの国が、これからの世界で互いに脅かすことなく理解し合い、助け合いながら共に発展していくことは、双方の国にとって、そして世界全体にとってとても重要な課題となっています。

この課題はますます現実的なものになっています。ロシア人と話すことではじめて、あるいはあらためてわかること、感じることを大切にしたいと私たちは考えています。

ロシア語専攻では、外国語学部でもいち早く統一教材を用いた、総合授業システムを採用しています。総合授業システムとは、話す、聞く、書く、読むというロシア語の4技能を総合的に学習し、全体として、学習言語による実際の活動を可能にする異文化コミュニケーション・行動能力を高めることを目指すシステムです。クラスは少人数制で、学年ごとの「到達度目標」に従って授業は進められます。

また、ロシア語能力検定試験を導入し、客観的な評価基準による単位認定を行っています。

後期課程(3・4年生)では、ロシアの文学・歴史・経済・言語といった専門分野の研究に加え、ビジネスロシア語などの高度なロシア語運用能力を育成する授業も開講されており、将来、ロシア語を使った専門職に就くための準備も積極的におこなっています。

みなさんも私たちと共に勉強して、「ロシア」という未知の扉をたたいてみませんか?



アイスバレエ(サンクトペテルブルク)

学生の声

4年 久野 綾香

Привет! みなさんこんにちは。私たちはロシア語専攻です。ロシア語専攻では言語だけでなくロシアの歴史、文学、芸術、政治経済など自分の興味のあることを幅広く学ぶことができます。1、2年次では言語を専門に勉強します。文字を一から学び、文法の演習や作文、会話などを通してロシア語を習得していきます。ロシア語の授業は週に6コマと少しハードなスケジュールですが、3年生に上がるころには文字を知らないところから始めたとは思えないくらいロシア語が身につきます!

3年次からは1、2年次に勉強したロシア語を生かして、自分の興味のある分野を専門的に研究していきます。様々な文献を読んだり、学生同士で意見交換をしたり、プレゼンテーションを行ったりしてロシアについての理解を深め、そのうえで卒業研究に取り組みます。

今、世界は大変な状況にあります。いまロシア語を学ぶのは、...と思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、ロシア語を学ぶの中でロシアの歴史や文化などを知っていくことで世界の見方が少し変わるかもしれません。ロシアのことを知らなければ理解できないこともたくさんあります。ロシアはバレエやクラシック音楽、絵画などたくさんの魅力的な文化や芸術、そして興味深い歴史を持つ国です。皆さんもぜひ一緒にロシアについて学んでみませんか?



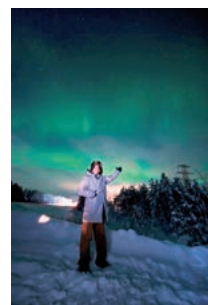
留学体験記

4年 大森 元喜

僕はサンクトペテルブルク大学へ約7ヶ月間留学しました。大学では、各国から集まった留学生と共に受ける週5日のロシア語の授業に加え、他学部で行われる講義をいくつか受講しました。現地学生とともに受講したジャーナリズム学部での講義はチャレンジングでしたが、ロシアジャーナリズムの歴史的背景、現在のあり方について新たな視点や知見を得ることができ、有意義な経験となりました。

生活面では現地で出会った人々との触れ合いが印象に残っています。ロシア人の友人と度々訪れたバーニャ(ロシア式サウナ)では、ロシア語で会話をする僕たちをみた現地の人々に話しかけられ、談笑する場面が何度もありました。またバーニャでは白樺の枝葉で体をマッサージする文化があるのですが、全く知らない人にマッサージをしてもらうという日本では考えられない経験をし、ロシアの人々の気さくさに驚かされました。

国際情勢の悪化により、当初予定していたより数ヶ月早い帰国となりましたが、振り返れば、ロシアの街や文化、自然の美しさや、現地の人々の心の温かさに触れた留学でした。帰国後、ロシア関連の報道を見る度に、政治問題によってその国の素晴らしい部分が見えなくなるのは非常に残念だと痛感します。メディアには映らないロシアという国の様々な側面は、自ら学ぼうとしなければ手には入りません。その第一歩として、今ロシア語を学ぶ意義は非常に大きいと改めて感じています。



ハンガリー語専攻

Jó napot kívánok! (ヨー・ナボト・キーバーノク)

ハンガリー語専攻では、ハンガリー語とハンガリー語が話されている地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーはもとより広く国際的な関心と理解をもち、大学で学んだことを生かして、将来積極的に社会で活躍したいと願っている学生を求めています。



ハンガリー語を専攻語として学ぶことができるのは、日本では本学だけです。ハンガリーは中欧に位置する人口 1000 万人足らずの小さな国です。1989 年に社会主義国から体制転換し、2004 年には EU に加盟しました。その間、ハンガリーは経済・文化その他さまざまな分野で急速に発展し、日本とハンガリーの交流もまた活発になってきました。きっと将来、本学でハンガリー語を学ぶみなさんの中からも、両国のさらなる発展に貢献する人が現れることでしょう。

では、ハンガリー語とは、いったいどんな言語なのでしょう。ハンガリー語は不思議な言語だとよく言われます。その理由は、文法構造や語彙がヨーロッパの他の言語と比べてかなり違っているからです。ハンガリー語は言語系統的にはウラル語族に属し、ヨーロッパではフィンランド語やエストニア語が近い関係にあります。ヨーロッパの人々から見ると、ときに不可解だと思える現象がありますが、ヨーロッパの外、たとえば日本から見れば、別に不可解なわけではありません。それどころか、日本語と似たところがあります。ハンガリー語では日本語の助詞(てにをは)と同じような働きをする要素(接尾辞)が用いられるなど、学んでみるときっと親近感を感じることでしょう。本専攻では最初の 2 年間は集中的にハンガリー語を学習し、基礎的な語学力を身につけます。3、4 年生になると、ハンガリー語力を活かして言語学、文学、歴史など、各自の興味にしたがってさまざまな分野を選択し学ぶことができます。

ヨーロッパの中で他とはちょっと違う特徴を持ったハンガリー語とハンガリー文化を学んでみませんか?きっと今までとは違う新しい世界が見えてくることでしょう。

学生の声

3年 尾野 晏菜

Szia! こんにちは。ハンガリー語を主専攻として唯一学ぶことが出来るのが、私たち大阪大学外国語学部ハンガリー語専攻です。ハンガリーにあまり馴染みがない方が多いのではないのでしょうか。ハンガリーは温泉大国で人名は姓名の順であるなどと意外な日本との共通点が多い国です。私を含め多くの学生がハンガリーについてほとんど知らない所からスタートしますが、みんな気づけばハンガリーの沼にどっぷりとはまっています。

ハンガリー語はとっつきやすいけれど奥深いのが魅力です。ラテン文字で少し発音もローマ字読みに近いなどと慣れやすいですが、学べば学ぶほど日本語には無い感覚、日本語と似た感覚のどちらにも出会い学習が面白くなります。

1 学年 15 人ほどと小規模なので、優しい先生方やクラスメイトとアットホームな雰囲気で授業を受けています。言語の他、文化、歴史、など自分の興味に合わせて様々な分野について深く学べます。その他にも外国語学部で開催される「語劇祭」に参加し毎年ハンガリー語で劇を行ったり、ハンガリーの伝統的なお菓子を食べることができるクリスマス会があったりと様々なイベントがあります。

不思議なことに入塾して 1 か月もすると、ネイティブの先生が何を言いたいかわかるようになってきますし、ハンガリー語学習に不安を感じる必要はありません! 皆さんとともに学べることを楽しみにしています! Találkozunk a magyar szakon! ぜひハンガリー語専攻でお会いしましょう。



私は、一番奥の右から三番目(箱を持っている人の横)にいます。

留学体験記

4年 前田 菜帆

留学のきっかけ

ハンガリー語専攻として、他と同じくハンガリー語を専攻する大学への留学を検討していました。しかし自分がこの学部を選んだ“全世界の人々と交流したい”という思いを理由に、英語を専攻できるカーロリ大学を選択しました。

留学 Before&After

事前のオンライン留学を通して、語学力に自信を持って渡航したものの、ネイティブのように英語を話すハンガリー人の前に実力不足を実感。授業の復習に力を入れ、独り言を英語で話したり、外国人との交流に空き時間を費やす等、英語しか使わない、触れない生活を意識することで、発音を褒められたり、無意識に英語で会話できる程度までスピーキングが上達!新しいコミュニティに入っても持ち前の明るさを活かして会話に自然に溶け込めるようになり、この能力は就職活動にも役立ちました。今は語学力を活かし、外国人の国内旅行のサポートやガイドを努めています。

高校生へのメッセージ

留学を迷っている皆さん、絶対にチャレンジして下さい!留学は本当に人生の財産になります。半年の交換留学後、再度私費留学をするくらい、私はハンガリーが、現地で出会った人々が大好きになりました。挑戦して後悔すること等一つもなく、外国語学部には留学をサポートしてくれるリソースが全部集まっています。輝かしい大学生生活を想像して、合格まで駆け抜けてください。そして長いようで短い大学 4 年間、やりたいこと全部やり切った!と卒業できるよう、一日一日を貪欲に有意義に過ごしてください。



デンマーク語専攻

Goddag! Hej! (「ゴデー」「ハイ」)

デンマーク語専攻では、デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求したいと希望する学生を求めています。



森の中での自然保育

スウェーデン語専攻

Goddag! Hej! (より日常的な挨拶) (「ゴダー」「ヘイ」)

スウェーデン語専攻では、スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求したいと希望する学生を求めています。



カール・フォン・リネーのハンマルビー別邸(ウップサーラ郊外)にて

デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻は、1966年4月に大阪外国語大学デンマーク語学科として開設され、1985年4月にはスウェーデン語課程が加えられデンマーク・スウェーデン語学科となりました。そして、2007年10月から大阪大学外国語学部デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻として新たにスタートしました。国立大学では唯一の北欧に関する教育機関です。教育の対象は、デンマーク、スウェーデンを中心とする北欧の言語、文学、社会、歴史です。2年次までは専攻とする一方の言語を集中的に学習します。「読み、書き、話す、聞く」に同じ比重が置かれ、外国人教員は最初の段階からデンマーク語もしくはスウェーデン語のみで授業を行います。また、初年次には北欧事情の講義が、2年次には両国の文学、社会、歴史に関する概説的な講義もあります。3年次になると、自分の関心に応じて、言語、文学、社会、歴史いずれか1つの特別演習(ゼミ)を選択し4年次の卒論執筆に向けて準備が始まります。授業を担当するのは、それぞれの分野を専門とする両専攻の教員です。ちなみに、3・4年次ではもう一方の言語やノルウェー語、アイスランド語も学習することができます。

デンマーク語とスウェーデン語は、ノルウェー語、アイスランド語、フェロー語とともに北ゲルマン語を構成しています(北ゲルマン語は英語、ドイツ語、オランダ語などと系統的に近い関係にありますが、北欧地域圏で話されているフィンランド語やグリーンランド語はまったく別系統の言語です)。北ゲルマン語はフィンランドの一部を含めると北欧では約2千数百万人によって使用されています。このうち、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語の3言語の話者の間では、時には多少の困難があるにせよ、それぞれの言語を用いて相互に意思の疎通ができます。したがって、これらの1言語を会得すれば、他の2言語もかなりの程度まで理解できます。文字の特徴としては、英語で使われる26のアルファベットの他に、å(3言語共通)、æ、ø(デ、ノ)、ä、ö(ス)があります。北欧の言語を理解できる人は日本には多くありません。みなさんにはパイオニアの意気込みをもって励んでもらいたいと思います。そして、福祉制度や民主主義が確固と根をおろしている北欧の国々を深く知ることによって、世界を複眼的に展望し、文化はもちろん、国際情勢をもグローバルな視点から把握する能力を身につけてほしいと思います。

北欧を実地体験して理解する手段として留学や現地での夏期語学講座参加も大いに考えられましょう。デンマーク語を専攻する学生の場合は、私費でフォルケホイスコーレという寄宿制の学校に半年間、あるいは1年間留学する学生や、夏期休暇中にさまざまなコース(デンマークの文化と言語、工芸、ダンス、音楽など)に参加する学生も多数います。

一方、スウェーデン語専攻でも、3年次の8月中旬から翌年6月中旬まで、多くの学生が私費で成人教育機関であるfolkuniversitetに留学し、テキスタイルや音楽、美術、野外活動など自分の興味に応じたコースで、スウェーデン人と共に学んでいます。また、3年次以降に協定先の大学へ留学し専門性の高い授業を受けたり、夏休みを利用してサマーコースに参加し語学力をブラッシュアップする学生もいます。

デンマーク語専攻はコペンハーゲン大学、南デンマーク大学。スウェーデン語専攻はストックホルム大学、ルンド大学と学生交流の協定を結んでおり、毎年、これらの大学へ若干名の学生が留学することができます。

卒業生はメーカー、商社、金融機関、旅行社、マスメディア、北欧資本の大企業、公務員、教育研究機関、北欧各地の日本大使館や駐日の北欧の大使館などで活躍しています。また、卒業後さらに研究を続けたい人は本学の大学院へ進学することも考えられるでしょう。

みなさんが、日本における北欧学の最先端を担う大阪大学で学ばれることを期待しています。

(デンマーク語)

学生の声

4年 西本 光汰

皆さん、こんにちは！突然ですが皆さんは「デンマーク」と聞くと何を思い浮かべますか？もしかすると何も思い浮かばなかったでしょうか？

かく言う私も受験期にデンマーク語を選んだ理由はほんの些細なものでした。「レゴブロック」、「アンデルセン」、「世界一幸せな国」、そのような物に興味を惹かれてこの言語を選んでみました。ですが結論から申しますと、デンマーク語を選んでいて私は本当に幸運でした！

デンマーク語専攻は1、2年生のうちは言語を集中的に学びつつ、北欧への理解を深めていきます。そして3年生からはそれらの授業に加えて、言語・社会・文学・歴史の中から興味のある分野を選択しゼミにも所属します。

そしてデンマーク語専攻の魅力は何と言っても、学生同士だけでなく先生とも親しく、授業の雰囲気が非常に心地良いことです。外国語学部には「語劇」というイベントがあるのですが、その際にも先生に協力して頂きながら、学年を跨いで劇を演じ非常に盛り上がりました！

そのような中で学びを深めていくうちにデンマークの文化や社会に惹かれ、皆デンマークという国が大好きになっていくのだと思います。私自身もきっかけは些細なことでしたが、今ではデンマークの事が大好きです！

ですので、皆さんもきっかけはどんなものでも構わないので、ぜひ皆さんが興味を持たれた言語を選択してみてください。そしてそれがデンマーク語であるならば、私としては幸いです。



留学体験記

4年 田島 美聡

God dag! 私は今、デンマークのフォルケホイスコレに留学しています。ここはデンマーク独自の寄宿制の学校であり、デンマーク語、アート、スポーツ、自然体験など、学校によって幅広い科目を選択することができます。

放課後には、全員が好きなように Hygge (くつろいだ、楽しい) な時間を過ごします。天気の良い日にはみんなで芝生に寝転がって過ごしたり、森の中にお散歩に行ったり…私の学校では、陶芸やガラスなどの工房で休日にも制作に打ち込んでいる人もいました。

コロナの影響で学校開始が遅れ、当初より短い5ヶ月という留学期間になりました。それでも、この留学は私の人生においてとても貴重で贅沢な時間でした。生きたデンマーク語に触れられていたこと、そしてそれ以上に、また会いに来たいと思えるようなかけがえのない人々に出会えました。初めての海外で不安ばかりのスタートでしたが、こうして楽しく過ごすことができたのは、いつも助けてくれる親切で愉快的な友人達のおかげです。

ふと投げかけた小さな疑問から議論が白熱し、夜遅くまで話し続けることもありました。普段大学で学ぶようなアカデミックな視点からではなく、友達として何でも気軽に話し合うことができたのも、留学で得た貴重な経験です。

世界一幸福な国と呼ばれるデンマークで、人々はどのような考え方、生き方をしているのか。皆さんも、共に過ごす中で彼らの生の“声”を聞いてみませんか？



私は写真右です。

(スウェーデン語)

学生の声

3年 池谷 勇作

Hej! 皆さんがスウェーデンと聞いて思い浮かべるものは何でしょうか？綺麗な街並み、オーロラ、IKEA、夏至祭、ノーベル賞、高福祉、中立国、シュールストレミング…。なんとなくお洒落で、幸せで、平和な国というイメージがあると思います。一方で、スウェーデンの人はザリガニを食べたり、噂好きだったりしますし、スウェーデンは武器輸出大国でもあります。一般的なイメージからすると、ギャップがありますよね。

スウェーデン語を理解することで、そうしたギャップを埋めてスウェーデンのありのままの姿を観察できるようになります。

スウェーデン語専攻では、日本のスウェーデン研究の最先端の先生方の指導のもとで、自分の好きなテーマについて研究することができます。他専攻の友人からの話を聞いても、スウェーデン語専攻ほど先生方との距離が近いところは珍しいです。日本でスウェーデンについて学ぶなら最高の環境であると言えます。

学生同士の仲も良いです。写真は、同専攻の友人とキャンプへ行った時の写真です。スウェーデン人の先生とお花見やハイキングに行ったりもします。

スウェーデンは、日本で暮らしていると気付くことのできない魅力で溢れています。スウェーデンの事をあまり知らない人も、スウェーデン語専攻での日々を通じてきっと熱中できる何かを見つけれられるはずです。スウェーデンとの関わりを通して、充実した学生生活を送りませんか？



写真左側が本人です。

留学体験記

4年 西岡 美咲

私は2021年8月から約5か月間、フォルクフーグスコラという教育機関に、また2022年1月から約5か月間、ストックホルム大学に留学しました。

前半の学校では Allmän kurs (一般コース) に通い、英語や数学、社会や政治といった授業が、英語を除き全てスウェーデン語で行われます。その他に、私は Friluftsliv (アウトドア) という少人数制のコースを選択しました。自然との共存を大切にするスウェーデンだからこそ出来る授業であり、この学校への応募を決めたのもそこに魅力を感じたためです。フォルクフーグスコラには幅広い年代の、また様々な背景を持つ人たちが集まるので、彼らとの交流は私にとって知見を広げ、自身をも見つめ直す非常に良い機会でした。

後半の交換留学では、スウェーデン語に加え、スウェーデンの社会、芸術とその歴史について学びました。芸術作品の背景にある歴史的出来事をアカデミックな視点から分析することは非常に興味深かったです。授業とは別に、日本語カフェのコーディネーターを担当し、日本語を学習するスウェーデン人学生と文化や考え方の違いについて意見を交換、その後一緒にフィーカをしたり遊んだり、有意義な留学生活を送りました。

オンライン留学が出来るようになった時代。それでも、自分の肌で感じる場合とは得られる知識・経験が大きく異なると思います。みなさんも、現地でスウェーデンの美しい自然に触れ、多様性の尊重された環境に身を置いて学習してみませんか？



ドイツ語専攻

Guten Tag! (グーテン・ターク)

ドイツ語専攻では、ドイツ語を意欲的に習得し、それを駆使してドイツ語圏の文化や社会（言語学、文学、歴史学、哲学など）に関する専門的な知識を身につけ、学んだ成果を生かして社会に貢献したいという情熱を持った学生を求めています。



ドイツ語は、ドイツだけでなく、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインなどの中部ヨーロッパの国々に住む1億人ほどの人々が母語として用いている言語です。その他にもチェコ、ハンガリー、ポーランド、ロシアなど東欧諸国においては、英語に劣らず重要視されており、数あるヨーロッパ諸言語の中でも、ヨーロッパの文化や学問の形成に深く関わってきた言語であるといえます。また現在、ドイツはEU（欧州連合）の有力な一員であり、経済や環境保護の分野で重要な役割を果たしています。ドイツ語の学習を通じて、こうした現代ドイツ社会のあり方はもちろん、新旧問わずドイツ語圏の様々な魅力的文化に直接触れることができます。

ドイツ語専攻では、日本人5名、ドイツ人1名の教員を擁し、その他にも10数名の日本人、ドイツ人の講師がさまざまな授業を担当しています。ドイツ語専攻に入学すると、まず前期課程の2年間は文法・作文・講読・会話・LLなどの科目によって、ドイツ語運用能力の基礎を学びます。ドイツ語の言語的知識とコミュニケーション能力を鍛錬するこれら科目と並んで、講義において、ドイツ語圏の社会・文化などに関する知識を深め、3、4年生におけるドイツ語圏文化研究のための土台を築くことになります。

3、4年生（後期課程）では言語、文学、文化、思想、歴史などといった多彩な分野の演習科目（ゼミナール含む）が用意されており、自分が関心を持つ学問分野を選択し、そこで専門的な知識を深め、学生生活の総決算である卒業論文を作成します。またこれと並行して関連する研究科目および会話や作文などのドイツ語運用能力を高める科目も必修となっています。このように整備されたプログラムにより高い専門性を身につけて卒業した後は、ドイツ語のスペシャリストあるいはドイツ語圏の国々で活躍できるエキスパートとしての将来が待ちうけていることでしょう。

学生の声

3年 森川 友梨子

大阪大学外国語学部ドイツ語専攻では、1、2年次に必修の週5回のドイツ語の授業を通してドイツ語の基礎能力を固めて、3年次からは歴史、文学、演劇、言語学、哲学などの専門分野ごとに開講されているゼミに所属しながら、卒論執筆に向けて研究を始めます。もちろん、3年次以降もドイツ語の授業があるので、研究を進めながら、ドイツ語を学ぶことができます。私を含め、ドイツ語専攻の学生は、サッカー観戦が好きでドイツのサッカーチームを応援していたり、クラシック音楽に興味があったりして、それをきっかけにドイツ語を選んだという人が多いです。他にも、ドイツには、ミュンヘンのオクトーバーフェストをはじめ、ベルリン映画祭やケルンのカーニバルなど、盛大な祝祭が行われているため、留学に行くことができればさまざまな形で楽しむことができます！また、ドイツ語圏は、ドイツだけではなく、映画「サウンド・オブ・ミュージック」で有名なオーストリア、美しいアルプス山脈のあるスイス、ベルギーやルクセンブルクなどでもドイツ語が話されています。私は、幼い頃から「アルプスの少女 ハイジ」がとても好きで、作中に出てくるアルプス山脈や豊かな自然を一度訪れてみたいと思っていたので、3年生の後期から始まる交換留学の際に行ってみようと思っています。是非皆さんもドイツ語圏の国々についてインターネットで調べてみて、さらなる魅力を見つけてみてくださいね。



留学体験記

4年 神村 優希

私は4年生の秋から、半年間ドイツのミュンヘンに留学しました。3年生の秋に出発する人が多いのですが、コロナ禍の影響で延期になりました。ミュンヘンは大都市にもかかわらず、平和でほのぼのとした町で、特にオデオン広場からマリエン広場にかけては、あてどなく歩いているだけでも楽しめるほどです。ドイツは日本に比べて交通費や宿泊費を抑えやすいため、様々な都市を訪れることができました。冷戦の歴史を感じられる首都ベルリンや、城砦から町を望めるニュルンベルク、漫画『進撃の巨人』の舞台と噂される円形の町ネルトリンゲン、エルベ川沿いに歴史的な街並みが広がる古都ドレスデンなど、見所満載です。

他の専攻にも言えると思いますが、ドイツ語専攻では1年生の時から、高校ですのような文法の勉強だけでなく、日常の様々なシチュエーションを想定した会話や作文の練習を行い、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。そのおかげで、留学でドイツ語漬けの環境になっても、幅広く対応し、順応することができました。また、こうした実用的な語学を通して、高校までで身につけた英語の欠けている部分、偏っている部分にも気づくことができ、ドイツ語のみならず英語の運用能力も上がりました。「ドイツ語ばかりやって、英語は大丈夫なの？」という入学当初の心配も無用でした。特にドイツは英語もかなり通じる国なので、英語とドイツ語を使い分けてみるのも一興です。



英語専攻

Good Morning/Afternoon/Evening. Hello/Hi!

英語専攻では、実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。



グローバル化が進む現在、英語は、あらゆる領域においてインタラクティブに最新の情報を交換するコミュニケーションに不可欠な世界言語として、極めて重要な役割を果たしています。

英語専攻は、グローバルに活躍できる高度な実践的英語力と専門知識、そして自らの主張を明確に発信できるコミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目標にしています。この目標に向かって、1、2年次に、徹底した語学実習により高い英語運用能力を養い、3年次進級要件となる基準レベル(TOEIC 730点、英検 準1級等)を上回る英語力を涵養するとともに、言語学的に見た英語の姿、英語圏の文学・文化についても幅広い知識を身につけます。進級後の3、4年次では、ネイティブ教員によるDiscussionの上級クラス、Essay Writing、同時通訳を含む多様な専攻語科目により、さらなる英語運用能力の強化を図ります。

また3年次から専門的研究授業を受講するとともに、文学・文化系、言語系、歴史・政経系の中からゼミを選択。卒業までの2年間、ゼミで、専門書購読、調査・研究、プレゼンテーション、討論により専攻領域への理解を深め、英語による卒業論文の執筆が研究の集大成となります。

外国語学部英語専攻の最大の特徴は、プラクティカルとアカデミックの両面で卓越した英語運用能力があつてはじめて成立する国際水準の最先端の学問を追究するという点です。そのためにも、皮相的な英語力ではなく、将来を切り開くうえで大きな糧となる思考能力、教養ある国際人が持つ高度なコミュニケーション能力の習得が期待されます。

前身の大阪外大の徹底した少人数教育によって鍛え上げられた英語専攻の卒業生は、商社、製造、金融、流通、運輸、マスコミ、観光、通訳・翻訳、官公庁、教育など、多方面で活躍しています。大学院に進学し、研究者として活躍している人材も少なくありません。優秀な卒業生を輩出してきた外大の伝統を受け継ぎ、いっそうの飛躍を遂げる英語専攻は、皆さんの入学を心よりお待ちしております。

学生の声

4年 大崎 遼輔

みなさん、こんにちは！英語専攻4年の大崎遼輔です。私からは英語専攻にはどんなことを勉強するのか、将来どんな進路を歩む人が多いのかについて述べたいと思います。

まず、何を勉強するのかについて。大学1・2年では主に4技能を身につける授業がメインで、レベルは高いですが高度な英語力を身につけることができます。3・4年では歴史・文学・言語学などから自分の興味ある分野のゼミに所属し、英語の論文を読んだり、ディスカッションをしたりと、身につけた英語の知識を活かして研究していきます。英語専攻には、英語「を」学びたい人の他に、英語「で」学びたい人が多いです。

英語専攻に所属している人は将来どういう道に進むのかについてですが、もちろん教員や外資系企業に就職など、英語を使う仕事に就く人もいれば、英語を使わない仕事に就いて独学で英語を学び続けるという人もいます。しかし英語のスキルを身につけていれば選択肢が広がることは間違いありません。実は私も日系企業に就職をし、英語を使う機会は少ないのですが、自主的に英語を勉強し続け、海外に展開する事業にも挑戦したいと思っています。

勉強したいことや将来やりたいことがない人もいるかもしれませんが、英語専攻の学生は学びの意欲のある人がほとんどなので刺激を受けますし、人数が多いことから多様な価値観に触れることで、新たな可能性に気づくこともできるでしょう。みなさんも英語専攻に入って、新しい自分に出会ってみませんか？



留学体験記

4年 田村 衣加

私は、英語のスピーキング能力を伸ばすことと異文化交流を通して知見を広げることを目的に、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(通称 UCLA)で約9カ月の交換留学をしました。英語圏での留学を考えている方には是非検討してほしい留学先だと自信を持っておすすめします。

留学生活が充実していたと感じる最大の理由は寮生活にあったと思います。ルームメイト2人はいずれもカリフォルニア出身で、プロジェクターを使って一緒に映画やドラマを見たり、アメリカの若者がよく使うスラングを教えてもらったり、時には銃規制、ジェンダー、人種、妊娠中絶など社会課題に関する真剣な議論を交わしたりもしました。ルームメイトや親しくなった友人との交流を通して、英語の力が伸びただけではなく、社会に対する関心や問題意識が芽生えたことも、私にとっては大きな変化だと感じています。

UCLAでは言語学専攻でしたが、交換留学生は専攻にとらわれず基本的に好きな授業を履修できるので、以前から漠然と興味のあった心理学やグローバル・スタディーズの授業も受け、知見を広げることができました。阪大での授業と比較してリーディング課題の量が圧倒的に多く予習が大変でしたが、図書館やカフェで同じように勉強している学生を見てやる気をもらっていました。

燦爛と降り注ぐ太陽の下で、英語を使って現地の文化や人々の価値観をダイレクトに学べたことは、非常に刺激的かつ貴重な経験でした。



フランス語専攻

BONJOUR! (ボンジュール)

フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化（文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など）に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている学生を求めています。



ロワール渓谷のシュノンソー城

フランス語は、中世の時代より現在に至るまで、芸術や思想を生み出す支えの言語として、ヨーロッパ文明において重要な役割を担ってきました。フランス文学は中世の「ロランの歌」などに代表される叙事詩や吟遊詩人達による叙情詩から、スタンダール、フローベール、ユーゴー、プルーストなどの近代、現代の小説に至るまで、世界でも他に類を見ない多様で豊かな創造的世界を生み出してきました。哲学者のデカルトやパスカル、ルソー、サルトルといった名前も皆さんにはおなじみのことと思います。フランス語を使って生み出された文学作品や哲学書は膨大な数にのぼります。

またフランス語は、フランス本国以外にも、ベルギー、スイス、カナダといった欧米諸国、あるいはカメルーン、コートジボワール、コンゴなど、かつてフランス領やベルギー領であったアフリカ諸国の一部でも公用語のひとつとして使われており、およそ1億の人たちがフランス語を話していると言われていています。そして国連をはじめ、EUやユネスコなどの国際機関においても公用語のひとつとなっています。あまりに英語偏重の今の日本ですが、世界中を飛び交う情報の中で、英語で流される情報はその一部でしかありません。複数の外国語を学んでおくことは、視野を拡げ、他者をよりよく理解し、今のこの世界における様々な事柄に関してより的確な判断を下すためにも、これからの私達にはぜひとも必要な作業なのではないでしょうか。

私達はフランス語とフランス語が培ってきた芸術や文化の魅力とその有用性を伝えるべく、中世の時代から現代に至る文学、歴史、文化、言語学などできる限り多種多様な分野の授業を用意して、皆さん方の期待に応えたいと考えています。



セーヌ河岸のルーブル宮

学生の声

2年 坂元 太陽

「フランス語ってなんとなくお洒落だな。」「フランス語喋れたらカッコいいだろうな。」このような些細な動機によって、私は、フランス語専攻を志望しました。「フランスの文化が好きだ。」「フランス語を必要とする仕事に就きたい。」などといった動機を持つ学生もいます。人それぞれ、フランス語専攻を志望した動機は異なりますが、全員が外国語を勉強することが好きだという点で一致します。そんな仲間たちと、毎日楽しくフランス語を学習するのが、フランス語専攻です。1年生で、フランス語の基本的な文法を学び、2年生になれば、それを用いて、フランス語の文章を読む力、書く力を養います。もちろん、フランス語を聞いて、話す力も身に着けます。そして、3年生以降で、フランスの文化を研究していくこととなります。

私の大学生活はというと、勉強と部活動の両立に尽きます。体育会硬式野球部に所属しており、週5日の活動に加えて、勉強もこなします。もちろん、忙しいのですが、一切つくはありません。なぜなら、フランス語も野球も好きだからです。勉強も、部活動もしくはサークル活動も、自分が好きなことを、自ら選んですることができなのが大学生活です。その4年間で、課外活動を通して、社会で活躍する術を学び、そして、フランス語専攻の学生として、フランス語、フランス文化のスペシャリストになれるでしょう。



留学体験記

4年 上中 望愛

Bonjour !

皆さんこんにちは！私はフランスの南部エクサンプロヴァンスという街にあるエクス＝マルセイユ大学に留学しました。南仏特有の賑やかさがありつつ、ゆったりとした時間が流れるこの街で約9ヶ月間過ごした経験は、自分の人生を豊かにしてくれるものとなりました。

様々な人種が集まるフランスでは多くの文化に触れることができ、食文化・コミュニケーションの取り方・考え方の違いなど文化の多様性を体験できました。同時に自国の文化や自分自身を見つめなおす機会にもなりました。

日常生活の中では自然と語学力がついていくことを実感できました。大学では現地の学生と同じレベルの授業を受けます。フランス語を学ぶのではなく、フランス語で学ぶという苦労は大きいものでしたが、次第に、聞ける！分かる！といった感覚を得られるようになりました。

週末には、大学で出会った友人と旅行をしたり、ホームパーティーに参加したりと、現地ならではの体験ができました。同じ志をもつ仲間との出会いは良い刺激となり、帰国した今も彼らは自分を鼓舞してくれる存在です。

コロナ禍で一度は中止が決まった留学でしたが、時期を延期して参加することができ本当に良かったと感じています。限られた環境ではありましたが、留学を終えた今、この経験は自分の力となり将来に生きるものになったと確信しています。

皆さんも学んだ言語を武器に世界へ飛び込み、いましかできない経験を楽しんで下さい。



イタリア語専攻

Buongiorno (ブオンジョルノ)

イタリア語専攻では、多様性と伝統を大切にするイタリアの言語、文学、歴史、社会、文化等に強い関心を持ち、イタリア語の高度な運用能力を身につけて、日本とイタリア両国の相互理解に貢献しようという意欲のある学生を求めています。



イ タリア人で知っている名前を挙げてみてと言われたら、みなさん、どう答えるでしょうか。サッカー選手のトッティ、映画俳優／監督のロベルト・ベニーニ、靴のサルヴァトーレ・フェラガモなどの名前が挙がるでしょうか。ちょっと詳しい人なら、ダンテやラファエロ、ガリバルディ、マリア・カラス、あるいはベルルスコーニといった名前も挙がるかもしれませんね。

イタリアは、芸術、文学、音楽、ファッション、サッカー、映画など、様々な分野で個性的な才能を輩出してきた地域です。イタリア語を学ぶということは、このような多様な文化領域にアプローチするうえで非常に有効です。例えば、ミケランジェロの彫刻に興味があるという場合、ミケランジェロが書き残した手紙などを自分で読むことができれば、作品を理解するうえで大きな手がかりとなりますよね。また、劇や映画に関心があるという場合、台本・脚本を自分で読んで、役者の台詞の話し方やそのニュアンスまで理解することができれば、作品を見るうえで大いに役立つでしょう。

ただ、どんな言語にもいえることですが、一つの外国語を修得することは決して容易な話ではありません。イタリア語の場合、発音は非常に分かりやすいのですが、文法には少々厄介なところがあります。例えばイタリア語の名詞には、必ず男女の性別があります、treno(列車)は男性名詞、piazza(広場)は女性名詞といった具合に。面白いでしょ？

1・2年次には、そのような点を含めてイタリア語の基礎をしっかりと身に付けることになります。3・4年次には、習得したイタリア語を駆使して、様々な専門分野の授業に参加することになります。大学の授業は決して簡単ではありませんが、幸いなことに、語学の習得は、努力すれば必ずそれだけの報いがあります。みなさんと一緒に学ぶのを、私たちも楽しみにしています。



中部イタリア、世界遺産の街ビエンツァ

学生の声

4年 中岡 優吾

マルゲリータ、カルボナーラ、ワイン…、または、ファッション、オペラ、サッカー…。これらをふと耳にする人は多いのではないのでしょうか。これらをきいてどこの国を思い浮かべますか。皆さんは授業などでダンテ、ガリバルディ、ローマ帝国などを聞くことも多いでしょう。どこの国が分かりましたか？そう！これらはすべてイタリアの有名な文化や歴史です。私たちの生活に何気なく潜んでいるイタリアのことをもっと広く、もっと知る機会がこのイタリア語専攻にはたくさんあります！

さて、イタリア語専攻の人たちは普段何を勉強しているのでしょうか。それはもちろんイタリア語です。イタリア語はローマ字に近い発音、つづりとなっており、単語も英語に似ていて覚えやすく、学び始めるにはとっておきの言語です！また、高校の英語の授業のような講読などもありますが、イタリア語専攻の授業では会話の授業が多く、実用性のある生きた言語を学べ、なにより先生方も優しく楽しく教えてくださるので、和気あいあいとした楽しい授業となっています。

このような情勢下で納得のいかない学生生活を送っている方も少なくないでしょう。その中でも受験勉強を頑張ってきた皆さんよく頑張りました！そして、もう半年ほど長いとは思いますがもう少しです。楽しい大学生活が待っています。頑張ってください！そして、その楽しい大学生活をよかったら僕たちイタリア語専攻の仲間と一緒に過ごしませんか。全力でサポートし一緒に、学び、楽しませますので志望校に迷ったならぜひイタリア語専攻に来てください！



本人は、写真前列真ん中の青いシャツの学生です。

留学体験記

4年 中谷 咲

私は今、イタリア、ヴェネツィアにいます。昨年9月にヴェネツィア・カ・フォスカリ大学への留学生としてやってきました。イタリア語漬けの生活により語学力を伸ばすことができたことは大きな喜びです。しかしそれ以上に、現地の文化にどっぷり浸かり、これまでの私にとっての「当たり前」が当たり前ではない環境での生活は私を大きく変えました。

100以上の島々からなり水の都とも呼ばれるこの街には車も電車もありません。ゴンドラやガラス工芸といった伝統が大切に守られつつも異文化に寛容なこの街には特別な空気が流れています。ここで暮らし始めて9か月、毎日の生活はカルチャーショックで溢れ、発見や驚きのない日は1日たりともありませんでした。いかなる感情も、そしてそれらを表現することも尊重されるべきだということ、緻密な計画性だけでなく柔軟で臨機応変な対応力が重要とされること、議論は人間関係を深める上で欠かせないという共通理解があること…。日常生活における些細なことから将来的なキャリアや人生観に至るまで、今まで私が生きてきた世界では出会うことのなかった多様な価値観に触れることができました。視野はぐんと広がり、その結果自分ですら今まで知らなかった自身の側面を知ることにも繋がりました。新たな経験と様々な強い感情で溢れ充実したあつという間の9か月でした。皆さんも、貴重な経験の選択肢の一つとして留学を加えてみてはいかがでしょうか。



写真に向かって一番右、鞆を持っているのが私です。

スペイン語専攻

Buenos días

(午前中から昼食までの挨拶)
(ブエノス ディアス)

Buenas tardes

(昼食後から暮時までの挨拶)
(ブエナス タルデス)

スペイン語専攻では、スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語を活用してスペイン言語学、スペイン文学やスペイン史はもとより、スペイン語圏の政治や経済、文化一般に関する知識を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界について総合的に理解したいと思っている学生を求めています。



トレド全景

ス ペイン語は、スペインのみならず、アメリカ合衆国の一部およびメキシコから南米のチリ、アルゼンチンに至るまでの実に広大な空間（ブラジルを除く）で、3億人以上の人々によって話されている言語です。スペイン語の重要性は、国連の公用語の一つとされていることから明白です。話される地域が広く、話す人の数も多いという事実は、今日の国際社会において、私たち日本人がスペイン語と接する機会がますます多くなることを意味します。スペインおよびスペイン語世界は、様々な意味で大いなる可能性を秘めた魅力溢れる世界であり、「スペイン語はそれを知る人の未来を開く」と言っても過言ではありません。

もちろん、スペイン語を知っているだけでは十分ではありません。スペインおよびスペイン語世界の文化一般に関する知識を総合的に身につけていることが肝要です。しかし、それは並大抵の努力でできるものではありません。あくまでも努力目標であり、それに近づくために、まずは個々の分野の様々な知識を正確かつ着実に身につけていくことから始めなければなりません。スペイン語専攻の授業も、限られたスタッフと時間のなかで、そのために組まれています。皆さんに課せられた使命は、1、2年次において、スペイン語を正確に「読む、書く、聞く、話す」能力を身につけ、それを駆使しさらに磨きつつ、3、4年次において、スペイン語学やスペイン文学、スペイン史、イスマノアメリカ文学などの専門的な多くの知識を学び、それを土台に各人が自己の価値観をととして独自のスペイン観もしくはスペイン語世界観を構築することです。

スペインおよびスペイン語世界を総合的に理解するには、少し控えめに言って、その文化一般を知るには、スペイン語の習得が不可欠であり、逆に、文化を知らなければ真の意味でのスペイン語の習得もあり得ないということを肝に銘じて下さい。そして、スペイン語世界のことなら何でも知ってやろうという貪欲な気持ちで、4年間の勉学に励んでもらいたと思います。皆さんには、可能性と魅力溢れるスペイン語世界が開かれています。



アルハンブラ宮殿ライオンの中庭(グラナダ)



聖家族教会(バルセロナ)

学生の声

4年 佐藤 志保

¡Hola a todos! 受験生の皆さん、こんにちは！

スペイン語はスペインとラテンアメリカという広い範囲で話されている言語です。スペイン語を習得して多くのスペイン語圏の人と話したいという人から、好きなスポーツに通訳として携わりたいという人まで、様々な目標を持ってスペイン語を選んだ学生がいます。私は、本で見たトレドという都市の写真が印象的だったので、スペイン語を専攻しました。このように直感的に決めた私も、授業を経てスペインの演劇に魅せられ、学びたいことを見つけました。具体的な目標を持っている人も、そうでない人も、臆せずにスペイン語の世界に飛び込んでみてください。

スペイン語専攻では、一年次に文法から会話まで基礎的な知識を身につけます。発音の練習という初歩から始めて、ネイティブの先生とも話せるようになると、感動もひとしおです。二年次以降は発展的な文法事項を学び、学んだ内容をコミュニケーションや作文において運用していきます。さらに、スペインとラテンアメリカの文学や演劇、語学、歴史などについても学び、三・四年次のゼミでは自分が興味のある分野を選んで研究をしていきます。

一から言語を学ぶのは大変なことです。学んだ言語は単なる会話のツールではなく、その国の文化を深く知るための一助となるはずです。皆さんもスペイン語専攻に来て、フラメンコや闘牛に留まらないスペインの魅力やラテンアメリカ世界の奥深さを発見してみませんか？



向かって左側で看板を手にしているのが私です

留学体験記

4年 山田 陽菜

私はスペインに約半年間語学留学をしていました。外国語学部の方は3年の後期から1年間留学されるケースが多いかと思いますが、私はコロナウイルスの影響により出発時期が1年遅れたため、友人の多くが留学を諦めていたなかでの渡航となりました。頼れる人の少なさと就職活動との両立など不安なことは多々ありましたが、振り返ればスペインで過ごした半年間は自分の人生観や仕事に対する考え方に少なからず影響を与える貴重な時間であったと感じています。

ここからはスペインでの思い出を少しご紹介します。

まず、スペイン国内の言語の多様さは想像以上だったということです。私は標準的なスペイン語が話されるサラマンカという地域に滞在していたのですが、南部の都市の旅行中には、同じスペイン語を話しているはずなのに何を言われているのかまったく分からないといったことがありました。また、食文化にも同様に地域差があるので、各地の名物を調べて色々なお店を回ったのもいい思い出です。憧れだったヨーロッパ周遊はコロナ禍だったこともあって叶いませんでしたが、それでも半年の滞在期間一度も退屈したことがないくらい、スペインは魅力の詰まった素敵な国でした。

いまは、卒業前にもう一度海外生活がしたいなと思いながら過ごしています。留学前は一人で海外に行くなどということは考えもしなかったので、そういった意味でも自分を大きく成長させてくれた経験でした。



ポルトガル語専攻

Olá, como estás? (ポルトガル)
(オラー、コモ・エシュタシュ)
Oi, tudo bem? (ブラジル)
(オイ、トゥード・ベイン)

ポルトガル専攻では、ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人、ポルトガルやブラジルの言語や文化に強い関心を持ち、習得したポルトガル語を駆使してその多様性を主体的に探求しようという意欲のある学生を求めています。



ブラジルのリオデジャネイロ市の景観 中央の岩山が「パン・デ・アスカル」

ポルトガルはユーラシア大陸の最西端に位置し、12世紀にイスラム教徒からの「国土回復運動」の過程で独立国としての第一歩を踏み出しました。その後、ポルトガルが「大航海時代」の先駆者として、アフリカ、アジア、アメリカ大陸へと進出した歴史はよく知られています。その結果、ポルトガル語は現在、ポルトガルだけにとどまらず、南アメリカのブラジル、あるいはアフリカの旧ポルトガル植民地5カ国（アンゴラ、モザンビーク、ギニアビサウ、カーボベルデ、サントメ・プリンシペ）、また21世紀になって独立した東ティモールなどでも使われており、その話者は2億人を超えています。

本学でポルトガル語を専攻する学生は、1・2年次には、外国人教師による会話の授業を含め、ポルトガル語を総合的に学習し基礎力を身につけます。その後、ポルトガル語圏の言語や文学、文化を勉強することになります。ポルトガルやブラジルというと、サッカーや音楽、格闘技などを思い浮かべる人が多いのですが、それらにとどまらず、各地域の歴史や文学、文化に幅広い関心をもってほしいと思います。また、各自が選択したテーマにしたがい自ら研究を深め、卒業論文を執筆するのも3・4年次の重要な活動になります。

多彩な地域で、数多くの人々によって話されるポルトガル語を勉強することは、視野を広げ、世界の多様な文化を理解し、いろいろな国の人々とコミュニケーションを行ううえで、大きな力になります。皆さんもそのようなポルトガル語を身につけて海外へと大きく飛躍してくれることを期待しています。



「大航海時代」の栄華をいまに伝えるリスボンのジェロニモス修道院(16世紀)

学生の声

3年 橘川 慧士

皆さんこんにちは、ポルトガル語専攻へようこそ。

ポルトガル語専攻では、ポルトガル語の基本的な文法、発音、会話などの授業はもちろんのことポルトガル語圏の文学、歴史、経済、言語論、芸術さらには音楽など幅広い分野の授業を履修することができます。まず、一・二年生では特に基本的な文法、発音、会話などを学び、三・四年生では一・二年時に学んだことを活かしながら自身の興味のあるゼミに入って同級生や先輩方とともに卒業論文の作成に向けて準備を進めていきます。また、授業以外にも自身の専攻語を用いて同級生や先輩方とともに一つの劇を作り上げていく語劇祭というイベントもあります。

外国語学部といえばやはり留学を思い浮かべる人も多いと思いますが、私達ポルトガル語専攻も留学をする人は多数いて、約30名いる同級生の半数以上がブラジルをはじめとするポルトガル語圏やアメリカやイギリスなどの英語圏の国などへ留学を予定しています。実際に現地に行くことでしか学べない文化や、作ることができない人とのつながりを求めてチャレンジを積極的にしていく人が多いというのもポルトガル語専攻の特色だと思います。私はいつもそのようなクラスメイトに刺激をもらって充実した大学生活を送っています。

みなさんもぜひポルトガル語専攻で一緒に充実した大学生活を送りませんか？



留学体験記

2022年卒業 小西 健友

私は、ブラジルのリオデジャネイロ州に10カ月間、語学留学をしていました。コロナウイルスの影響で、予定よりも早い帰国になりましたが、非常に濃い経験をすることができました。期待を胸に臨んだブラジル留学、グァナバーラ湾を旋回する飛行機から見えた美しいリオの景色は今でもはっきりと覚えています。そんな希望にあふれた留学でしたが、着いて早々に挫折をしました。ホームステイ先に着いた私は、授業で学んだポルトガル語を使ってステイ先の方々とコミュニケーションを取ろうとしましたが、相手のポルトガル語が聞き取れませんでした。おまけに私の口から出てくるのはSim (Yes) か Não (No) の二単語のみ。期待でいっぱいだったはずの留学が一気に不安へと変わりました。しかし留学先の授業や現地のブラジル人と生活をする中で徐々に話せるようになり、帰国する頃にはカリオカ弁(リオデジャネイロ州の訛り)が染み付くまで成長しました。語学の勉強だけでなく現地の文化に触れられるのも留学の醍醐味です。熱狂的なサッカー文化、週末のシェラスコ、豊かな音楽、壮大な自然、おしゃべり好きなブラジル人…日本にはないものばかりで、毎日が刺激的な日々でした。今ではブラジルへのSaudade(郷愁)を感じる日々です。ブラジルは州によって文化が異なるため、同じブラジルへ留学した同級生を見ても、それぞれが多様な経験をしています。皆さんも是非自分だけの留学経験をしてみてください。

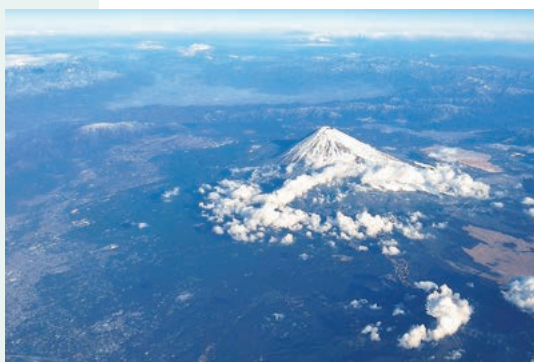


日本語専攻

こんにちは

日本語専攻では次のことに取り組む意欲のある学生を求めています。

- ・外国語を身につけ、外国の事情を知る。
- ・日本語・日本語教育・日本文化を客観的に捉え、多角的に学ぶ。
- ・学びの成果に基づいてグローバル社会における架け橋となる。



日 本語を母語として日常的に使っているみなさんの中には、「外国語学部で日本語を学ぶとはどういうことなのか?」という疑問を抱く人も少なからずいるのではないのでしょうか。しかし、ふだん何気なく使っている日本語の中にも、よく考えてみると不思議なナゾがたくさんあります。例えば日本語を学んでいる外国人から、「『バス停に止まる』と『バス停で止まる』の違いは何か」とか、「どうして感謝する時に『すみません』と言うのか」などと聞かれたら、どのように答えればいいのでしょうか。

このような問いに答えるには、母語である日本語を外から見つめ直し、他の言語と比べながら考える必要があります。日本語専攻では、日本語学・言語学・日本語教育学・日本文化学の領域にわたって、日本語を外国語のように観察して客観的に見る目を養い、幅広い視野から日本語・日本文化を捉えることのできる人材の育成を目指しています。日本語専攻の学生はそれぞれ、24の言語のうち一つを専攻言語として学ぶことになっています*。外国語を学んだ上で日本語を深く探求できるのは、外国語学部の日本語専攻だからこそできる最大のメリットです。また、日本語専攻には毎年約10名の留学生在が入学して、日本人学生と共に学んでいるので、教室の中でも日常的に多言語・多文化環境が実現されています。さらに、日本語教育に関心のある人には、教育実習の目的を兼ねた海外派遣や交換留学の機会も設けられています。

外国語を身につけて日本を世界に向けて発信したい・日本と世界との交流を通じて社会に貢献したい・外国語の言語能力を活かして日本語教育の現場で活躍したいなど、グローバルな視点に立って日本語と関わりたいと願うみなさんにぜひ来ていただきたいと思います。

*日本語専攻の学生の専攻言語について:外国人留学生は日本語。日本人学生は外国語学部で専攻のある、日本語以外の24言語の中から1つを選択し、その言語を専攻する学生とともに学ぶ。

学生の声

4年 三村 紗也香

日本語専攻と聞いて、「母語話者なのに、どうして大学で日本語を専攻するの?」と疑問に思う方もいるのではないのでしょうか。私は「海外で日本語を教えたい!」と思い、日本語専攻を選びました。日本語専攻では、日本語の教授法や、日本語の文法や仕組み、日本文化などについて広く学ぶことができます。1,2年生では主に、24言語のうち1つを学び、3年生から日本語専攻の科目をより専門的に学びます。

漠然と海外での日本語教育に興味を持って入学した私ですが、授業を受ける中で、日本国内の外国人に関する社会問題にも興味を持つようになりました。そして、未来の技能実習生にインドネシアで日本語を教える短期留学に参加したり、国内で働く外国人に日本語を教えるボランティアをしたりしています。日本語専攻で勉強したことによって視野が広がり、入学前には想像もしていなかった貴重な経験がたくさんできていると感じています。

友人の中には、日本の小学校や高校で外国に繋がる児童や生徒のサポートをしている人もいますし、希望すればドイツやタイをはじめ、世界各国の大学で日本語を教える機会を得ることもできます。

ここでは主に日本語教育学について書きましたが、日本語専攻では、様々な学問の中から自分の興味を探究していくことができます。卒業論文で専攻語を生かした研究をする人もいます。

新たな学びのきっかけ溢れる日本語専攻で、皆さんと会えることを楽しみにしています!



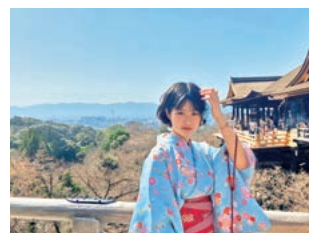
留学体験記

3年 CHO SUWAN

こんにちは。私は韓国から来た留学生です。日本留学を決めたきっかけは今まで勉強してきた日本語を使って生活してみたいという軽い気持ちからでした。さらに、長らく勉強してきた日本語をもう少し極めたかったため、日本語専攻への進学を決めました。

大学に入って勉強した日本語は私が考えていたものと少し違いました。今までなんとなく使っていた日本語一つひとつに疑問を投げ、なぜそのような差が生まれるのかということや、日本人というアイデンティティはどのように形成されてきたかを考える能動的な授業を受けて新しい考え方が身についたと思います。

その中でも日本語教育学の授業は私にとってとても新鮮でした。日本語を第二言語として勉強した私は、外国語はすでに母語を獲得し終えた人が習得するものだと思っていましたが、成人を対象にするだけではなく、子供を対象にする外国語教育もあることを知りました。特に、日本国内に存在する文化的に多様な子供が母語の獲得が終わっていない状態から第二言語として日本語を習得する際には難しい点が多いことを授業を通して知りました。成人に対する外国語教育ももちろん重要ではありますが、あまり焦点が当てられていなかったマイノリティ児童に興味が生じ、子供教育に対して詳しく勉強したいと思うようになりました。日本語専攻に進学して、新たな視点の勉強が楽しくなり後悔のない留学生活を送っています。



アドミッション・ポリシー

外国語学部は、世界諸地域の言語、文化、社会に対する強い関心を持つ、
次のような学生を募集します。

さまざまな文化背景を持つ人とコミュニケーションする能力を身につけたい人

世界諸地域の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人

言語を十二分に駆使して、世界諸地域の文化や社会の研究をしたい人

外国語学部・外国語学科

異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人

世界的規模の諸問題を解決するため、国際的な活動や協力を推進したい人

—— 言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ ——

世界25言語の専攻

外国語学部外国語学科は、25に及ぶ世界の諸言語の専攻語教育課程を設け、世界の言語と言語を基底とする地域文化の教育研究の集積拠点として、幅広く、そして深く世界・文化・地域を学ぶことができます。

入学定員

外国語学部 580名
3年次編入学 10名

授与学位 学士(言語・文化)

学部	学科	専攻
外国語学部	外国語学科	中国語専攻
		朝鮮語専攻
		モンゴル語専攻
		インドネシア語専攻
		フィリピン語専攻
		タイ語専攻
		ベトナム語専攻
		ビルマ語専攻
		ヒンディー語専攻
		ウルドゥー語専攻
		アラビア語専攻
		ペルシア語専攻
		トルコ語専攻
		スワヒリ語専攻
		ロシア語専攻
		ハンガリー語専攻
		デンマーク語専攻
		スウェーデン語専攻
		ドイツ語専攻
		英語専攻
		フランス語専攻
		イタリア語専攻
		スペイン語専攻
		ポルトガル語専攻
		日本語専攻



外国語学部のカリキュラム

◆カリキュラムの体系は、

大きく【教養教育系科目】【国際性涵養教育系科目】【専門教育系科目】に区分されます。

外国語学部では、教養教育系科目として、「学問への扉(マチカネゼミ)」、「基盤教養教育科目」、「高度教養教育科目」、「情報教育科目」、「健康・スポーツ教育科目」を合わせて14単位以上、国際性涵養教育系科目として、「第1外国語」、「兼修語学」等を合わせて10単位以上修得することとなっています。

専門教育系科目には、「専攻語科目」、「専攻科目」、「学部共通科目」、「卒業論文」等が配置され、102単位以上を修得することとなっています。専門教育系科目の根幹である「専攻語科目」は、1・2年次で履修する実習の科目と3・4年次で履修する演習の科目から構成されます。

なお、1年次に配当される授業は、原則として、豊中キャンパスで実施され、2年次以降に配当される授業は、箕面キャンパスで実施されます。



◆カリキュラムのあらまし

1年次		2年次		3年次		4年次	
系科目 教養教育 14	情報教育科目 健康・スポーツ教育科目 基盤教養教育科目 学問への扉（マチカネゼミ）				高度教養教育科目 （2年次秋学期～）		
	専攻語科目 （1年実習）		専攻語科目 （2年実習）		専攻語科目（演習）		
専門教育系科目 102			専攻科目（講義）				
			専攻科目（演習）				
	学部共通科目 ※1						
							卒業論文
国際性涵養 教育系科目 10	第1外国語						
	研究外国語（2年次～）※2 兼修語学※3						
	教職教育科目 ※4						

※1 学部共通科目には、方法論科目、地域系科目、特設科目があります。

方法論科目…言語学概論、文化概論、文学概論、芸術史、文化史、国際関係史など

地域系科目…他専攻の学生も履修が認められている、各専攻の専攻科目(講義)(演習)

特設科目…現代ジャーナリズム論、異文化理解演習、多言語共生社会演習など

※2 アイヌ語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、バスク語、台湾語など

※3 中国語、朝鮮語、アラビア語、スワヒリ語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語

※4 卒業に必要な単位には算入されません。

◆マルチリンガル・エキスパート養成プログラム

複数の高度な外国語運用能力と高い専門性を身につけ、国際舞台で活躍できる人材を養成するため、外国語学部の学生が、文学部、人間科学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、数理・データ科学教育研究センターが開設する専門教育科目を体系的に履修できる学部横断型のプログラムです。

修了すると、総長とプログラム開設部局長もしくはセンター長との連名で修了認定証を発行します。

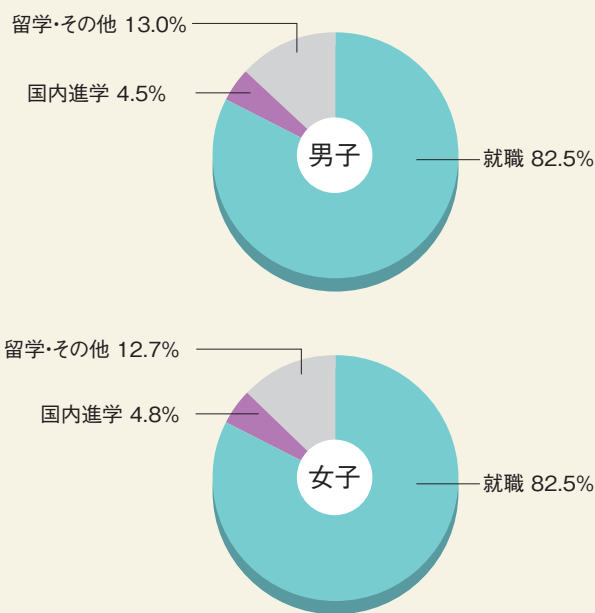
就職状況 外国語学部を卒業すると

外国語学部の卒業生は、在学時代に培った語学力とそれに基づいた豊富な知識を糧に、社会の様々な分野で活躍しています。大阪外国語大学時代より脈々と受け継がれたOB・OGとの繋がりも卒業生が増すごとに、より強固なものになっています。

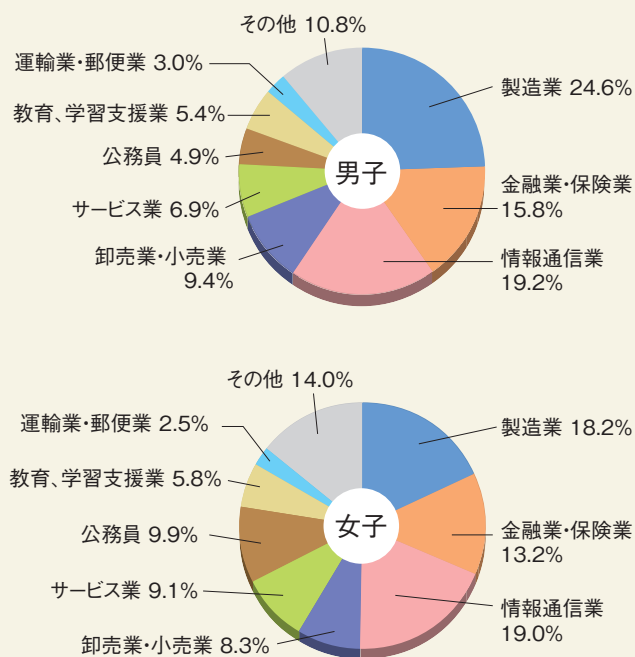
2021年度の外国語学部卒業生のうち、約83%が就職し、残りの卒業生が国内の大学院への進学や海外の大学又は大学院へ留学をしています。大阪大学の他の学部と比べても就職希望者の多い学部と言えます。多くの外国語学部生が在学中に経験する短期・長期の留学は、彼／彼女らにとっては社会（世界）へはばたく助走なのかもしれません。

以下のように卒業生の就職先は多業種にわたっています。入学してから自己を見つめなおし、4年間をかけて自分に合った進路を模索していく姿勢を身につけ、理想の就職ができるよう、外国語学部も全力でサポートします。

進路・就職状況（2021年度卒業生）



業種別 就職者数（2021年度卒業生）



過去の主な就職先（順不同・敬称略）

製造業

サントリーホールディングス(株)
パナソニック(株)
江崎グリコ(株)
山崎製パン(株)
味の素(株)
AGC(株)
タカラベルモント(株)
ローム(株)
旭化成(株)
(株)コーセー
(株)プリヂストン
三井化学(株)
資生堂ジャパン(株)
住友化学(株)
出光興産(株)
大日本塗料(株)
中外製薬(株)
富士フイルム(株)
(株)神戸製鋼所
住友電気工業(株)
オムロンヘルスケア(株)
ダイキン工業(株)
(株)クボタ
川崎重工業(株)
日立造船(株)
(株)コルグ
TDK(株)
マクセル(株)
京セラ(株)
富士通(株)
(株)日立製作所
三菱電機(株)
スズキ(株)
ダイハツ工業(株)
トヨタ自動車(株)
マツダ(株)
ヤマハ発動機(株)
(株)豊田自動織機
本田技研工業(株)
TOTO(株)
YKK(株)
ヨネックス(株)
ローランド(株)
(株)イトーキ
(株)セガ
日本製紙(株)

卸売業・小売業

伊藤忠商事(株)
(株)ニトリ
(株)ファーストリテイリング
丸紅(株)
三菱商事(株)
住友商事(株)
イオンリテール(株)
タリーズコーヒージャパン(株)
(株)紀伊國屋書店
(株)高島屋
(株)良品計画

双日(株)
三井物産(株)
アマゾンジャパン合同会社

情報通信業

(株)NTTドコモ
NECソリューションイノベータ(株)
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)
スミセイ情報システム(株)
一般社団法人共同通信社
楽天グループ(株)
(株)NTTデータ
(株)時事通信社
(株)朝日新聞社
(株)毎日放送
日本放送協会
ソフトバンク(株)
(株)読売新聞大阪本社

金融業・保険業

イオンフィナンシャルサービス(株)
(株)ジェシービー
(株)みずほフィナンシャルグループ
(株)りそなホールディングス
(株)三井住友銀行
(株)三菱UFJ銀行
アフラック生命保険(株)
三井住友海上火災保険(株)
住友生命保険相互会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス(株)
東京海上日動火災保険(株)
日本生命保険相互会社
明治安田生命保険相互会社

その他の専門・技術サービス業

アクセンチュア(株)
エン・ジャパン(株)
(株)リクルート
(株)博報堂
アパグループ(株)
(株)阪急阪神ホテルズ
(株)星野リゾート
(株)エイチ・アイ・エス
(株)JTB
(株)オリエンタルランド
合同会社ユー・エス・ジェイ
全日本空輸(株)
(株)サイバーエージェント
(株)ベネッセコーポレーション

公務（他に分類されるものは除く）（国家公務）

外務省
財務省
国土交通省
文部科学省
法務省
防衛省
各都府県庁
各市役所（政令指定都市含む）
等

大阪大学 交換留学制度

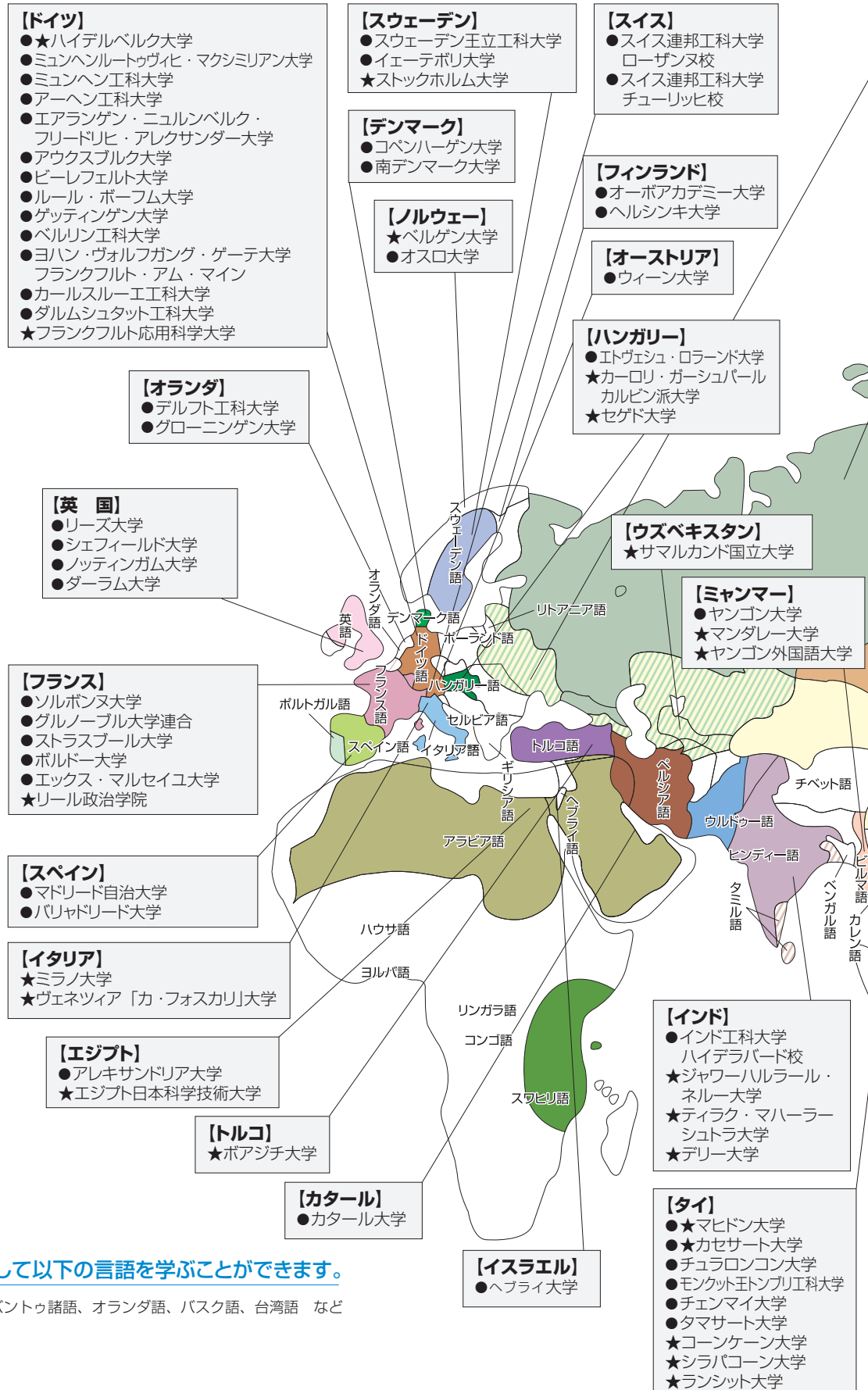
大阪大学外国語学部では、諸外国の100を超える大学との間で交換留学を行っています。この制度で留学すると、本学の授業料を納めておいて留学先の大学で学ぶという形になりますので、留学先の大学で授業料などを払う必要はありません。また、留学先の大学で修得した単位は、本学部の卒業に要する単位に算入することができます。(すべてとは限りません)。なお、奨学金(月額6～10万円:令和3年度実績)の支給を受けることができる場合もあります。

学生交流協定大学

●/大学間 ★/部局間 (令和4年6月現在)

大阪大学外国語学部で学ぶことのできる言語

- 日本語
- 中国語
- 朝鮮語
- モンゴル語
- インドネシア語
- フィリピン語
- タイ語
- ベトナム語
- ビルマ語
- ヒンディー語
- ウルドゥー語
- アラビア語
- ペルシア語
- トルコ語
- スワヒリ語
- ロシア語
- ハンガリー語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語



上記言語のほか、研究外国語として以下の言語を学ぶことができます。

アイヌ語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、バスク語、台湾語 など

海外留学について

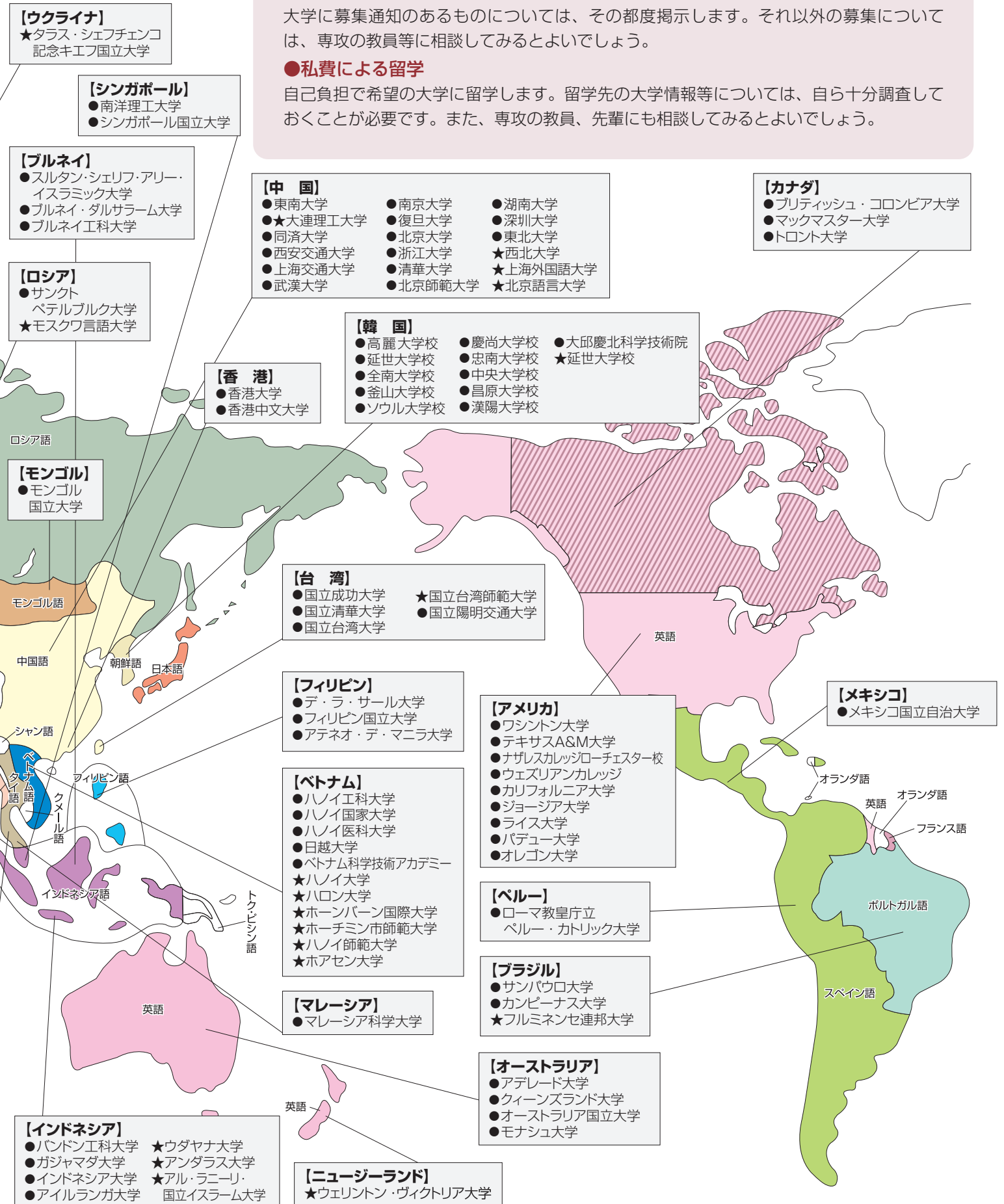
交換留学以外には次の方法などがあります。

●外国政府等の奨学金による留学／その他財団等の奨学金留学

毎年、諸外国・地域の政府または政府機関、及び民間団体が奨学金留学生を募集しています。大学に募集通知のあるものについては、その都度掲示します。それ以外の募集については、専攻の教員等に相談してみるとよいでしょう。

●私費による留学

自己負担で希望の大学に留学します。留学先の大学情報等については、自ら十分調査しておく必要があります。また、専攻の教員、先輩にも相談してみるとよいでしょう。



卒業生からのメッセージ

大阪大学大学院

阿部 蒼俊（2022年3月卒業
スウェーデン語専攻）

私は外国語学部スウェーデン語専攻で学び、卒業後は同じスウェーデン語専攻の大学院で研究をしています。スウェーデン語と聞いてもなじみのない人が多いでしょう。しかし、文法は英語に近く、比較的学びやすい言語かと思っています。2年生まではネイティブの先生のサポートも受けながら、スウェーデン語の基礎を学びます。最初はネイティブの先生の言葉がまったくわからないですが、徐々にわかるようになるプロセスは言語を学ぶ醍醐味でしょう。20人弱の少人数なので、授業や語劇祭などの行事を通して協力できるのはスウェーデン語専攻ならではの魅力です。

3年生以降は卒業論文執筆のため、社会、歴史、文学、言語にわかれて研究を行います。2年生までの基礎知識を元に、レベルの高い文章を読むことも要求されます。それでもスウェーデン語専攻・デンマーク語専攻の先生方は親身に指導して下さるので、充実した研究ができる環境は十分に用意されています。

多くの学生が3年生の夏からスウェーデンに留学します。

スウェーデン語専攻の留学は非常に充実しており、スウェーデンやフィンランドの大学に加え、国民高等学校で実践的なスキルを学ぶことも可能です。私も留学を予定していましたが、コロナウイルスの影響で渡航できませんでした。現在はスウェーデンの歴史を研究テーマとして大学院に進学し、留学も視野に入れながら研究に励んでいます。



総務省

村岡 郁弥（2022年3月卒業
モンゴル語専攻）

モンゴルには「物で身を飾るより学で身を飾れ」ということわざがあります。入学当初、私は恩師から「何事にも学ぶ意欲を持ち、謙虚に行動する大切さ」を学びました。大阪大学外国語学部では、諸外国の現状を自分の目で確かめ、これまでの常識を覆すような体験がたくさん出来ます。言語は自分と異なる文化・価値観を持つ社会を認め合い、共有できる有効な手段です。多様性が尊重される現代社会で、外国語学部での学びは将来に渡り価値あるものになると私は考えています。

大阪大学外国語学部の最大の魅力は、自分の専攻言語に留まらない学びが出来ることだと思います。私は専攻言語以外にトルコ語・フィンランド語など様々な言語を学びました。もちろん、言語のみならず政治や哲学・歴史や芸術等、自分の関心事項を突き詰めて学び、広い視野を持って物事を考察し、研究することができます。

また、MLE(マルチリンガルエキスパート)という学部の垣根を越えて履修可能なプログラムもあります。私はMLEを

通じて経済学部の必修科目等を履修し、会計学や国際金融・財政学などの基礎知識を身に付けることが出来ました。

私は現在、国家公務員として総務省で働いており、放送関係無線局の許認可や放送受信相談等の仕事をしています。もちろん、働く上で辛いこともあります。大阪大学外国語学部での多くの経験が今の自分を支えてくれています。受験生の皆さんも、ぜひ自分の未知の領域へ挑戦する気持ちを持って、大阪大学外国語学部で学んでみませんか？



ブラザー工業株式会社

小森 那々海 (2022年3月卒業)
デンマーク語専攻

言語を学んで広い世界や文化に触れてみたい。どうせなら人と違うことをやってみたい。そんな漠然とした思いで、私は外国語学部・デンマーク語を選びました。卒業した今振り返ってみると、専門的な教育、異文化との日常的な交流、切磋琢磨できる友人に出会えたこの5年間は、私の今後の生き方や考え方を作るうえでの糧となってくれと思います。

入学当初は遠い憧れのように感じていたデンマークへの長期留学で味わった、現地でデンマーク語が通じた時の感動、留学しなければ会うことのなかった景色や人々に出会った経験は、私の一生の宝物になりました。また、入学時には全く知らなかった言語を用いての留学生活、自分の興味のある分野を深く掘り下げることができた経験は、0からのスタートでも続ければ思いもしなかった成果につながりうるという学びにつながりました。

現在、私は西欧営業担当として、日々現地のグループ会社とコミュニケーションを取りながら自社製品を海外に届けるサポートをしています。まだ入社したばかりですが、

様々な文化をバックグラウンドに持つ人々と協力しながら業務を進めていくのはとても刺激的です。大阪大学外国語学部で得た「やってみなくちゃわからない」精神は、私に自信を与え海外に関わる仕事がしたいと思わせてくれました。みなさんも外国語学部で、夢への第一歩を踏み出してみませんか。



リ・カレント株式会社

吉井 智容 (2022年3月卒業)
朝鮮語専攻

皆さんは外国語学部と聞いてどのようなイメージを受けますか？

私は中学生の頃から朝鮮語の音の響きに魅了され、その興味を追い求めて本学の朝鮮語専攻を選択しました。入学後は自分の好きな言語に没頭し、仲間と切磋琢磨しながら自分でも実感するほど語学の沼に嵌っていきました。

しかし、振り返ってみると私が大学で得た学びは語学に留まらず、他にも知的好奇心を喚ばれる沢山の出会いがありました。単なる語学力だけではなく、音の持つイメージや、方言、造語法などの奥深い言語の仕組みに唸られ、気づけば自分もその分野で研究を深めることとなりました。また、朝鮮語以外にも専攻地域外の文化を体験したり、入学前には想定もしていなかった希少言語の世界に足を踏み入れてみたり。「言語」という切り口から見た多様性の世界は、私にとって貴重な学びと財産になりました。

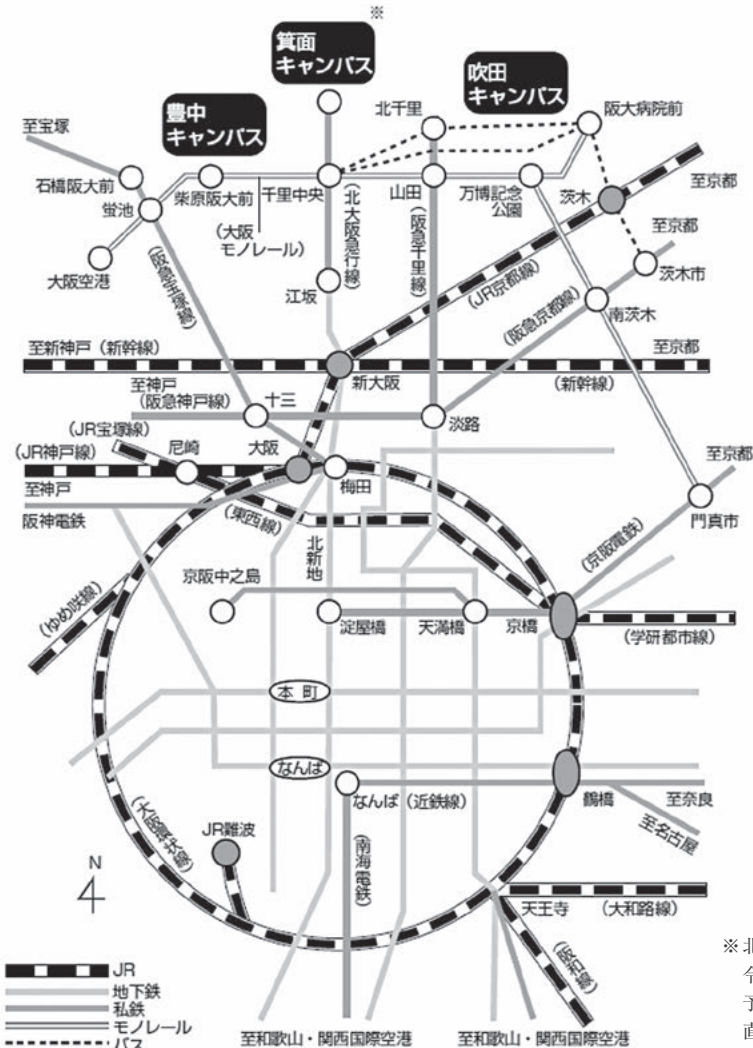
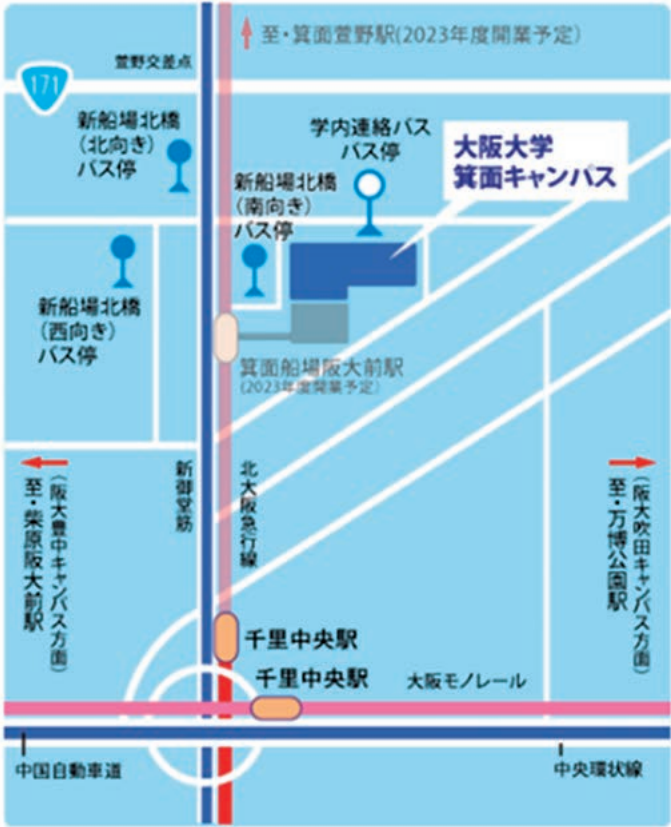
私が現在勤めている会社には、様々な経歴を持つメンバーが集まっており、日々意見衝突しては、興味津々に問い合っ

ています。価値観の違いを発見する楽しみも、在学中の未知の世界への好奇心から得たものだと思います。

外国語学部での学びと言うと、語学を連想する方も多いかもしれませんが。私もそのうちの一人でした。しかし、大阪大学には沢山の異文化からの刺激を受けながら、自分の知らない興味の世界を拓けることのできる環境があります。ぜひ皆さんも語学に留まらない刺激的な大学生活を送ってみませんか。



箕面キャンパス 周辺マップ・交通経路図



※北大阪急行線延伸計画により、令和5(2023)年度に新設される予定の「箕面船場阪大前駅」と直結する予定です。

